



# 京都先端科学大学 大学院

---

GUIDE BOOK 2021

- 経済学研究科 [修士課程]
- 経営学研究科 [修士課程]
- 人間文化研究科 [修士課程]
- バイオ環境研究科 [博士課程前期・後期]
- 工学研究科 [博士課程前期・後期]

## ▶ 沿革

- 1951年 3月 学校法人京都学園創立
- 1969年 4月 京都学園大学開設
- 1995年 4月 大学院経済学研究科  
修士課程開設  
大学院経営学研究科  
修士課程開設
- 2002年 4月 大学院人間文化研究科  
修士課程開設
- 2010年 4月 大学院バイオ環境研究科  
博士課程(前期・後期)開設
- 2019年 4月 校名変更  
京都先端科学大学 大学院
- 2020年 4月 大学院工学研究科  
機械電気システム工学専攻  
博士課程(前期・後期)開設

## CONTENTS

KUASの注目トピックス	2
工学研究科	6
機械電気システム工学専攻(博士課程前期・後期)	
税理士養成コース	10
経済学研究科	12
経済学専攻(修士課程)	
経営学研究科	14
経営学専攻(修士課程)	
人間文化研究科	16
人間文化専攻(修士課程)	
バイオ環境研究科	20
バイオ環境専攻(博士課程前期・後期)	
2021年度大学院 入学試験ガイド	24
大学院長期履修 学生制度のお知らせ	25
交通案内	25

# 大学は、変わる。 生まれ変わる。

京都先端科学大学は総合大学として、工学研究科、工学部を仲間に加え  
大きな分野で活動する新しい大学に生まれ変わります。

本大学院は、修士、博士の学位取得を目指す教育組織です。

大学院修了生は、現代社会が直面する

近未来の困難な課題や多様な社会ニーズに主体的に対応するため、  
それぞれに重要な役割を果たします。

ロボットや自動機械などのテクノロジーの進化は、

工場や働く場だけでなく、

町に、家庭に深く関わるようになるでしょう。

そのときに求められるのは、人間の行動を深く理解した上で

それらを社会実装することであり、そのために必要な多様な学術です。

本学では、高い専門性を備え、実践的な英語力を持ち、  
国際社会人としての基礎能力に富んだ人材を育てます。

世界が必要とする学術と人材を輩出する大学として、

京都先端科学大学のブランドを学生、教員、職員がともに築きます。

そして、学生の皆さんが描く夢、未来を実現できるよう、

教員、職員は一丸となって支援いたします。



学長  
**前田 正史**

工学博士。東京大学 工学部卒／東京大学大学院 工学系研究科  
金属工学専攻 博士課程修了。東京大学 生産技術研究所所長など  
を経て、東京大学理事・副学長を歴任。2016年10月～2019年  
3月まで日本電産株式会社生産技術研究所所長。研究分野は、「金  
属生産工学」「資源リサイクル」。2018年4月より京都学園大学副  
学長、2019年4月京都先端科学大学学長に就任。



# 新しいステージへ進む、KUAS の注目トピックス

## 工学研究科2020年4月開設。 イノベーションをもたらすエンジニア・研究者へ。

次世代の機械電気システムに必須の高度な専門知識を修得し、新しい発想で産業にイノベーションをもたらす新たな価値を生み出すことができる高度専門技術者・研究者の育成をめざします。博士課程後期を設け、社会的な課題を解決に導いていく問題発見・解決能力の育成にも力を注ぎます。



## 工学研究科の学びの舞台となる 南館(工学部棟)が誕生。

先進的な学習環境が整う工学部棟を新設。最先端の設備を活かした実験など、実践的な学びに打ち込みます。世界から優秀な学生が集う学生寮も併設しています。



# 工学研究科の学びの舞台となる南館竣工、 国際学生寮も併設。

工学部新設に伴い、京都太秦キャンパスの南館となる工学部棟が竣工。地上5階、地下1階建てで、学生がいつでも使用できる機械工房や電気電子工房の他、フリーアドレス制デスクが設置されたラーニングcommonsが2階から4階まで各階にあり、学生の開放的なコミュニケーションを促すように設計されています。関連分野や研究領域、学年、国籍を越えた「工学」を共通項とするエンジニアの育成空間として、多くの機能を有する学舎です。また、南館竣工に伴い、同敷地内に併設される国際学生寮太秦 A 棟は、留学生と日本人学生が共同生活することを通じて、多様な文化・価値観を理解する生活空間と地域に開かれた国際交流を展開し、グローバル社会で通用する先進性・多様性・倫理観と、専門的知識・創造的思考力・洞察力・俯瞰力・幅広い教養を兼ね備えて、複雑で複合的な問題に挑戦できる人材を育成していきます。



## 研究科長紹介



### 目指すは“融合”と“創造”を実践するプロアクティブ・グローバル人材育成

既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらす「デジタル・トランスフォーメーション (DX)」が始まっています。ロボットや自動運転車はその一例です。DX 時代をリードしていくには、グローバルな視点で特定の技術分野に囚われることなく社会的ニーズの高い課題を見つけ、問題点を抽出し、デジタル技術を駆使してこれを解決できる高度専門技術者が求められています。本学工学研究科では、DX 時代に必須となる多様な技術分野を材料、エネルギー、情報、システムの4領域として捉え、自分の専門領域を定めて深く学修すると同時に関連する3領域の知識も“融合”して深化させることで、新しい概念を“創造”し次世代の産業と新たな価値の創出に貢献できる高度専門技術者を養成します。意欲ある皆さんの応募をお待ちしています。

工学研究科長 **田畑 修**



### データ解析を学ぼう

経済学研究や経営学研究のありかたは、いま大きな転換期を迎えています。それは社会のあらゆる分野で、いわゆるビッグデータが整備されてきているからです。ICT 技術の進歩によって、各種のデータの取得、保存、分析が容易になってきたことや、社会全体における情報開示の動きが加速してきたことも影響しています。こういった現象は、研究のあり方に影響を与えます。個人の創意工夫だけでなく、チームを組んでの研究がより求められるのです。さらにこういう変化は教育面にも影響を与えます。経済学や経営学の学習のあり方は、独習から次第に、ディスカッションなどによる共同作業のウエイトをまします。今後はそういう心構えで学んで欲しいと思います。具体的には、ともに学び合う友を持ち、お互い切磋琢磨することなどが重要になります。

経済学研究科長 経営学研究科長 **西村 周三**



### 人間文化研究科で1つのことを突き詰めて、突き抜けた研究をしよう!

皆さんはなぜ大学院に行きたいと思っているのですか?もちろん「研究」するためですね。それでは「研究」とは何でしょうか?大学生の頃に気づいていたと思いますが、高校までの「勉強」は答えのある問題をできるだけ効率的に解くことです。しかし大学や大学院での「研究」は、まず自分で問題を見つけることから始まります。そしてその問題の答えをいろいろな方法で見つけようとする。もしも答えがないかもしれません。しかしその問題を考え抜くプロセスが大切です。その問題を突き詰めて考え続けることで、気がついたら突き抜けた研究をしています。皆さんも人間文化研究科で私たちと一緒に突き抜けた研究をしませんか。

人間文化研究科長 **佐藤 嘉倫**



### 先端科学技術で生命や自然の仕組みを解明し、その成果を社会に還元する

バイオ環境とは、人とともに多様な生物が共生できる環境のことをいいます。生物は環境の変動に対して、それぞれの種に特有の方法で適応しています。バイオ環境研究科では、生物が持っている能力、機能のメカニズムや特性を先端科学技術を用いて解析するとともに、その研究成果を社会に還元する方法について研究しています。また、多様な生物が共生できる環境の形成を目指して、自然環境の診断、評価、保護、保全、再生から、有用生物資源の開発、育成、栽培、改良そして収穫物の加工に至るまでの様々な課題に取り組んでいます。研究成果は、食を通して人々の健康・医療に貢献しているとともに、地域おこしや地域環境問題の改善に役立っています。

バイオ環境研究科長 **田中 和博**



### 機械工房

金属から樹脂まであらゆる材料の加工が可能な環境。他大学に先駆けレーザー加工機や3Dプリンタなど最先端の加工機やその他測定機器も充実しています。



### 電気電子工房

いつでも使用できる工房。電子部品を豊富に取り揃え、ロボット、ドローン等メカトロニクス装置などモノづくりに没頭できる環境です。

### ラーニングcommons

フリーアドレス制デスクを設置。研究室や学年の壁を越え、自由闊達な雰囲気の中でグループワークに切磋琢磨できるコミュニケーションスペースとなっています。南館には4つのラーニングcommonsがあります。



### 図書館

南館西側 4～5 階に開設の南館図書室は機械工学専門書籍などを揃え、いつでも利用することが可能です。



### 国際学生寮

2020 年に新しく設置された国際学生寮 (南館に併設) 2020 年度秋学期からは大学院留学生の受け入れを開始、2021 年度からは学部留学生も入寮する予定で、国際色豊かな寮生活を過ごせます。



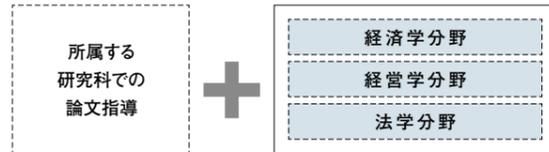


# 大学院で学んで資格をめざす資格支援の3つのプログラム

## 1 共通プログラムで 資格取得をめざす、税理士養成コース

今日、税理士が税務の専門家として果たす役割がますます重要になっています。本学の大学院では経済学と経営学の2つの研究科共通プログラムとして、「税理士養成コース」を開設しています。学生はいずれかの研究科に所属しますが、資格取得に必要な、それぞれの分野で開講される科目の修得単位はすべて「所属研究科の修了に必要な単位」として認定されます。本コースは、これからの時代の税理士をめざす人のために役立つカリキュラムを提供します。

▶税理士養成コース修了に必要な科目



## 2 FPの国際資格「CFP®」の受験資格を 取得できる、CFP認定教育プログラム

世界水準のファイナンシャル・プランニング・サービスが提供できるプロであることの証明、それが国際資格「CFP」。その審査試験受験に必要な資格を取得するためのプログラムです。この資格を得るには、国内資格であるAFP認定を経由することが一般的でしたが、本学の大学院で経済学と経営学の2つの研究科の所定科目群（右図参照）の単位を修得することにより、AFP認定者でなくてもCFP資格審査試験を受験することができます。

▶CFP受験に必要な科目群



対人援助や心理カウンセリングの分野で活躍するには、臨床心理士や公認心理師は欠かせない資格です。臨床心理学コースは、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院。本コースを修了することによって、臨床心理士資格試験の受験資格を取得することができます。臨床心理士や公認心理師の資格があれば、医療・教育・福祉・司法・産業などの分野で幅広く仕事をすることができます。

## 3 臨床心理士と公認心理師 の受験資格を取得できる、 臨床心理学コース

### 3つのポリシー

<p><b>アドミッションポリシー</b></p> <p>各研究分野の高度な学識と先端的な知識や技能の修得を通じて社会に貢献しようとする意欲の高い人を求める。</p>	<p><b>カリキュラムポリシー</b></p> <p>各研究分野の卓越した学識と応用力を修得できるようにカリキュラムを編成する。</p>	<p><b>ディプロマポリシー</b></p> <p>各研究分野の学術研究者や高度専門的職業人として活躍するのに必要な識見を修得した者に学位を授与する。</p>
---	---	--

#### 教育上の目的

##### 本学大学院の目的

本大学院は、京都先端科学大学の建学の精神を踏まえて、教育基本法及び学校教育法に基づき、専門分野における学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、社会の進展に寄与することを目的とする。

##### 本学大学院研究科の目的

本大学院経済学研究科は、現代経済社会の特性を踏まえつつ、国民生活の環境変化に伴う諸問題を分析し、広い視野に立って深い学識を修得し、高度な専門性の求められる職業を担うことのできる人材の育成を目的とする。

本大学院経営学研究科は、国際化・情報化・コンプライアンスの欠如といった社会環境の著しい変化の中にあって経営組織体の内外で生ずる関連諸現象に関して、経営学的側面の理論的かつ応用実践的な専門能力を有する有為の人材育成を教育目標としている。

本大学院人間文化研究科は、人間の心理、社会の態様、文化の機能を多角的に解明する学問体系の構築を図り、歴史的な視点を踏まえて、現代社会が抱える諸問題の解決に寄与できる人材を育成することを目的とする。

本大学院バイオ環境研究科は、多様な生き物と共生できる持続可能な地域環境（バイオ環境）を作り上げることを目標とし、そのために、バイオ環境をデザイン（設計）する領域の発展と、これに対応したバイオテクノロジーと環境学を連携させた広い視野を持つ人材を養成することを目的とする。

本大学院工学研究科は、機械分野と電気分野に跨る学際的な工学分野の専門的知識・学術・教養を兼ね備え、グローバル社会への関心と、次世代の電気機械システムに必須の専門領域の高度な知識を修得し、さらに深化させることによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる技術者・研究者を育成する。

# 大学院入試トピックス

## 2021年度よりインターネット出願が可能となります。

詳しい利用方法は「2021年度 京都先端科学大学大学院 入学試験要項」をご確認ください。※学内推薦選考除く。

- ①システム手数料・支払手数料が無料
- ②入学検定料の支払いはクレジットカードやコンビニ、pay-easyで可能
- ③24時間、出願可能

インターネット出願利用条件：E-mail アドレスを持っていること。

# 奨学金

本学では、多彩な奨学金制度を用意しています。全研究科共通のスーパートップスカラシップなど、意欲あふれる研究者を応援します。

名称	内容	金額等
スーパートップスカラシップ（全研究科）	博士課程前期および博士課程後期の希望者のうち、特別に優秀な者を対象とします。 ※各研究科若干名。	1. 入学全額免除 2. 学費（授業料、施設設備費、実験実習費）全額免除 ※2年間または3年間（継続には学期ごとの成績審査があります） 3. 修学支援金 年間120万円 ※2年間または3年間（継続には学期ごとの成績審査があります）
大学院給付奨学金（工学研究科除く）	研究及び学業等において本学大学院生の模範となる院生を対象とします。 ※各研究科若干名。	入学金・学費（授業料、施設設備費、実験実習費）全額又は50%
成績優秀者特別奨学金（工学研究科）	特別に優秀な博士課程前期希望者を対象とします。 ※第1種2名、第2種5名、第3種5名	第1種：入学金・学費10割 第2種：入学金・学費5割 第3種：入学金・学費3割 ※2年間（継続には学期ごとの成績審査があります） ※学費とは授業料、施設設備費、実験実習費を指します。
	特別に優秀な博士課程後期希望者を対象とします。 ※最大2名	第1種：入学金・学費10割 ※3年間（継続には学期ごとの成績審査があります） ※学費とは授業料、施設設備費、実験実習費を指します。

# 工学研究科

京都太秦キャンパス

Graduate School of Engineering Division of Mechanical and Electrical System Engineering

機械電気システム工学専攻 博士課程前期／博士課程後期

## CONCEPT

研究科コンセプト

キーワードは“創造”。複数分野を統合するアプローチで、「新たな技術や学問を創り出せる人材」を育成する大学院。

新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成します。

グローバルに活躍する国際色あふれる教員陣が最先端の研究設備を揃えた研究環境で ORT (On the Research Training) を実施します。また、工学研究科では海外からの留学生の受け入れを積極的に行い、グローバルな環境での学修、研究やコミュニケーションの機会が生まれます (留学生は9月入学)

### 博士課程 前期

**養成する人物像** 機械電気システム工学分野を構成する材料、エネルギー、情報、システムのいずれかの領域を中心として、次世代の機械電気システムに必須の専門領域の高度な知識を他領域の知識と関連づけながら修得させることによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる専門技術者及び高度専門技術者を養成します。

### 博士課程 後期

**養成する人物像** 機械電気システム工学分野を構成する材料、エネルギー、情報、システムの4領域のうち専門とする1領域を深く学修し、同時に関連する3領域の知識も深化させることで、それぞれの高度な専門的知識に加え、領域横断的な総合領域において高度な専門的知識を深化させ、多様な学問分野の動向と社会ニーズを踏まえた社会的ニーズの高い問題発見能力を有し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる研究者を養成します。

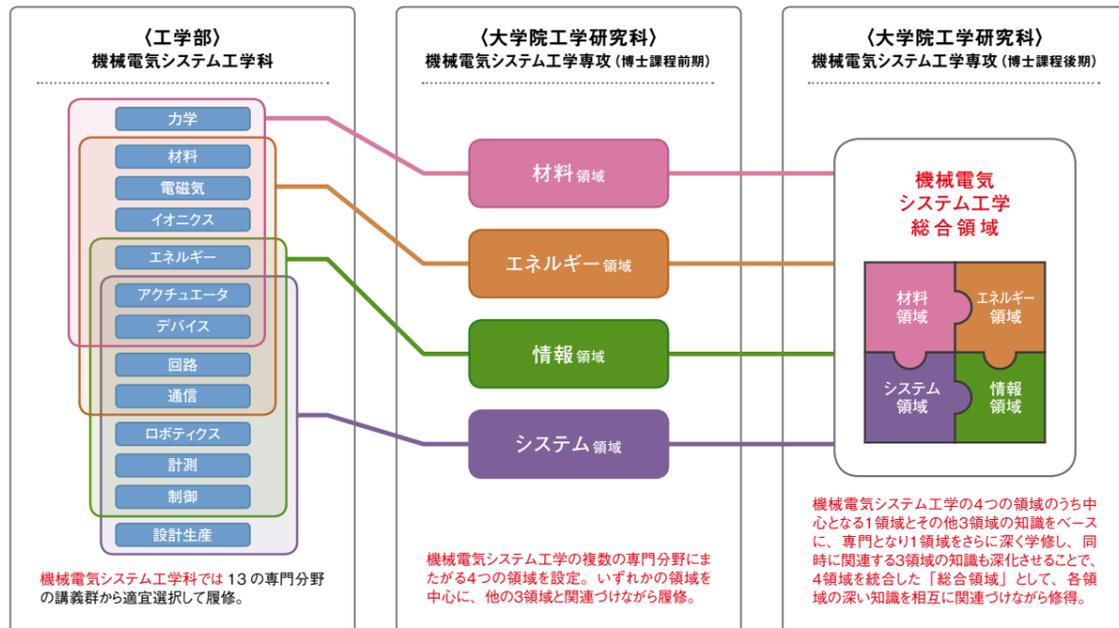
### めざすキャリア

- メーカーの設計・生産・開発・品質管理の各部門の高度専門技術者
- 研究者

### めざすキャリア

- メーカーにおける研究開発者
- 大学および高等研究機関における研究者

### 「工学部」と「大学院工学研究科(博士課程前期・後期)」の関係説明図



## CURRICULUM

カリキュラム

次世代の電気機械システムに必須の高度な専門知識を修得し、新しい発想で産業にイノベーションをもたらして新たな価値を生み出すことができる高度専門技術者・研究者の育成をめざします。

### カリキュラムマップ(博士課程前期)

		教育課程			
		1	2	3	4
語学科目	科学技術英語	科学技術英語I	科学技術英語II		
	専門科目(基幹)	材料 エネルギー 情報 システム	先端機械電気システム工学通論 エレクトロニクス材料の物理と化学 大学院エンジニアのためのコンピュータ数学 ロボティクス特論	先端機械電気システム工学通論 MEMS技術と材料 風力発電テクノロジー	
専門科目(発展)	材料			計算材料科学特論	
	エネルギー			半導体電力変換技術	半導体/パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計
	情報				スクリプト言語と仮想マシン
	システム			システム設計論	リモートセンシング
研究関係科目		特別演習I	特別演習II	特別演習III	特別演習IV
		特別研究I	特別研究II	特別研究III	特別研究IV



専門科目(基幹)と語学科目は1年生、専門科目(発展)は2年生で履修します。研究分野関係科目は主研究指導教員と副研究指導教員(複数)という研究指導体制をとり、2年間を通じて各自の研究テーマに応じた十分な研究指導を行います。

### カリキュラムマップ(博士課程後期)

		教育課程					
		1	2	3	4	5	6
語学科目	科学技術英語			科学技術英語III		科学技術英語IV	
	専門科目	材料 エネルギー 情報 システム	エレクトロニクス材料の物理と化学 計算材料科学特論 半導体電力変換技術 大学院エンジニアのためのコンピュータ数学 システム設計論 ロボティクス特論	MEMS技術と材料 風力発電テクノロジー 半導体/パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計 スクリプト言語と仮想マシン リモートセンシング	機械電気システム工学特論(材料) 機械電気システム工学特論(エネルギー) スクリプト言語と仮想マシン リモートセンシング	機械電気システム工学特論(情報) リモートセンシング	機械電気システム工学特論(システム)
研究関係科目		特別演習I	特別演習II	特別演習III	特別演習IV	特別演習V	特別演習VI
		特別研究I	特別研究II	特別研究III	特別研究IV	特別研究V	特別研究VI

専門科目は博士課程前期の科目に加え、機械電気システム工学特論(材料・エネルギー・情報・システム)の4科目を開講します。研究分野関係科目は主研究指導教員と副研究指導教員(複数)という研究指導体制をとり、3年間を通じて各自の研究テーマに応じた十分な研究指導ができるようにするとともに、主研究指導教員の所属する領域以外の3領域の教員を交えて発表及び討議を行います。



ADMISSION POLICY

以下の要件を満たし、本学大学院で学び、新しい未来を切り開く熱意のある方の応募をお待ちしています。

■博士課程前期

1. グローバルな視点で社会の未来に繋がる課題の解決に意欲をもって携わりたい者。
2. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野の基礎的な知識を有している者。
3. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野に科学的・学術的な観点からアプローチし、専門性を深めて課題に挑戦する意欲を有する者。

TEACHING STAFF

**田畑 修 教授** 博士(工学)

担当 先端機械電気システム工学通論 MEMS 技術と材料  
 科目 機械電気システム工学特論 (情報) 特別演習I~VI  
 特別研究I~VI

著書 センサ、3次元微細加工、薄膜材料機械的物性評価、微小生体模倣システム、DNA ナノテクノロジーなどの分野における英語論文170編、国際学会発表300件、国内口頭発表200件以上。IEEE フェロー、電気学会フェロー。

「小さな機械が創る大きな機械」をスローガンにして、ミクロメートルからナノメートルの大きさの構造と機械・電気・化学・光・バイオなどの機能を統合して新しい機械電気システムをつくりだす研究に取り組んでいる。

**川上 浩司 教授** 博士(工学)

担当 システム設計論 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 不便から生まれるデザイン (化学同人、2011)、不利益という発想 (インプレス、2017)、不利益 (近代科学社、2017)、アーティファクトデザイン (共立出版、2018)、不利益のスヌメ (岩波、2019)、他多数

論文 システムデザイン論。人工的にシステム(モノやコト)をデザインする(創り出す)ときの指針を探索する。人とシステムが環境を含めて「共生」する状態にするための指針として「不利益」の実現を据える。

イアン ピ ュ マ ー タ Ph.D. in Computer Science (イギリス)

**Ian PIUMARTA 教授**

担当 大学院エンジニアのためのコンピュータ数学  
 科目 スクリプト言語と仮想マシン 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 Ian Piumarta. *Open, extensible composition models*. In Proceedings of the 1st Workshop on Free Composition (FREECO) 2011

論文 Configurable and meta-programmable systems that observe and analyse themselves or modify their own implementations.

**松本 龍介 准教授** 博士(工学)

担当 計算材料科学特論※ 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [著書] "Atomistic Simulations of Hydrogen Effects on Lattice Defects in Alpha Iron", *Handbook of Mechanics of Materials*, Chapter 10, Springer, 2019.

論文 [論文] 英文誌を中心に60編超執筆

金属材料の変形と破壊機構や、強度信頼性評価に関する研究を行っている。特に電子・原子レベルのシミュレーション手法を用いて、水素環境での材料強度の劣化(水素脆化)機構の解明に取り組んでいる。

**岸田 逸平 准教授** 博士(工学)

担当 エレクトロニクス材料の物理と化学  
 科目 計算材料科学特論※ 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 The graph-theoretic minimum energy path problem for ionic conduction, *AIP Advances*, 5 (10), p. 107107 (2015).

論文 「誰かが電池を改善してくれたらいいなあ」とぼんやり眺めて過ごすよりも、自分がその電池を改善して社会に貢献する。そんなことを夢見て、私は主に電池材料の研究を理論計算を用いて進めている。

**高橋 亮 准教授** 博士(理学)

担当 半導体電力変換技術  
 科目 機械電気システム工学特論 (エネルギー) 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 Ryo Takahashi, Keiji Tashiro and Takashi Hikiyama, "Router for Power Packet Distribution Network: Design and Experimental Verification", *IEEE Transactions on Smart Grid*, vol. 6, no. 2, pp. 618-626, March 2015.

論文 電力ルーティングシステムなど、情報通信システムおよび電気システムを横断し、両システムを連系統合したサイバーフィジカルシステムによる革新的システムおよびその産業応用についての研究を行う。

**今井 欽之 教授** 博士(工学)

担当 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [著書] 久保田 他 (共著) "ホログラム最新技術~感光材料の開発から実製品への応用まで~", 情報機構, (2006).

論文 [論文] T. Imai et al, "Fast response varifocal lenses using KTa1-xNbxO3 crystals and a simulation method with electrostrictive calculations." *Apl. Opt.*, vol. 51, no. 10, pp. 1532-1539, (2012). など

論文 専門は単結晶を材料とした光制御デバイス、ホログラフィー。単結晶の育成から取り組んでおり、近年は非常に強い電気光学効果を持つ単結晶を用いた、光線を高速に曲げる(走査する)デバイスの開発とその装置応用に重心を置いている。

**沖 一雄 教授** 博士(都市・地域計画学)

担当 リモートセンシング 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 K. Oki, Noda, K., Yoshida, K., Azechi, I., Maki M., Honma, K., Hongo C. and Shirakawa, H., Development of an Environmentally Advanced Basin Model in Asia, [Crop production] (Aakash Goyal, ed.), INTECH, 17-48 (2013) DOI:10.5772/54926

論文 [論文] K. Oki, H.Oguma, and M. Sugita, Subpixel Classification of Alder Trees using Multitemporal Landsat Thematic Mapper Imagery, *PE& RS, Vol.68, No.1*, pp77-82 (2002).

論文 ドローンや人工衛星などのリモートセンシング技術によって観測されたビッグデータから付加価値情報を抽出するための手法開発をおこなっている。また、他分野との連携によるイノベーション創出に興味がある。

**中村 康一 教授** 博士(工学)

担当 計算材料科学特論※ 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [論文] First-principles simulation on thermoelectric properties of transition metal dichalcogenide monolayers, *Jpn. J. Appl. Phys.* 57, 06HE04 (2018). ほか多数

論文 量子化学的・量子物理学的手法に基づく材料物性(熱電変換特性、電気機械特性など)や材料反応に関する理論的研究とシミュレーションのほか、相対論的電子状態理論を用いた材料系の応用計算を行っている。

**佐藤 啓宏 講師** 博士(工学)

担当 ロボティクス特論 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [論文] "VR/MRガイドツアーシステムの開発と運用"日本VR学会、19. 2. 247-254. 2014. "タングルロボロジーを用いたロボットハンドによる人間の持ち替え動作の模倣"日本ロボット学会誌、33. 7. 514-523. 2015. 共著等

論文 コンピュータビジョンやVR/MRを使ってアームロボットや車両型ロボットを遠隔制御や自動制御で動かす。最近の興味は、ロボットが自律的に視覚を制御して必要な情報を自動で取得する能動視覚にある。

Fuat KUCUK 講師 Ph.D. in Electrical Machines and Power Electronics (トルコ)

担当 風力発電テクノロジー 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 F. Kucuk, E. Sunan, "Performance Analysis of an Alnico-Based Permanent Magnet Reluctance Generator for Wind Energy Conversion System", *IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering*, vol.13, no. 9, pp. 1296-1302, 2018.

論文 Wind energy becomes significant source of electricity production in the world. This course provides a thorough introduction to modern wind power generation systems and their control technologies.

Martin SERA 講師 Ph.D. in Mathematics (ドイツ)

担当 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 Chern classes of singular metrics on vector bundles, joint with R. Lärkäng, H. Raufi & J. Ruppenthal, *Advances in Mathematics* 326 (2018) 465-489

論文 A generalization of Takegoshi's relative vanishing theorem, *Journal of Geometric Analysis* 26 (2016) no. 3, 1891-1912

論文 Modifications of torsion-free coherent analytic sheaves, joint with J. Ruppenthal, *Annales de l' institut Fourier* 67 (2017) no. 1, 237-265

論文 His research interest is in the field of complex geometry. Using L<sup>2</sup>-theory and coherent sheaves, he analysed the geometry of singular complex spaces. Recently, he studies singular Hermitian metrics on vector bundles.

**堀井 滋 教授** 博士(工学)

担当 エレクトロニクス材料の物理と化学  
 科目 機械電気システム工学特論 (材料) 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 「実用的3次元結晶配向法としての回転変調磁場配向への取り組みの現状」、粉体および粉末冶金 67 (2020) 213.

論文 「現代界面コロイド化学の基礎 (第4版)」(2019) (分担執筆)

論文 主に酸化物材料を対象に、磁場配向プロセス開発や材料化に向けた物質設計指針の構築に関わる実験的研究を、電氣的・磁氣的・結晶構造の観点から進めています。

**福島 宏明 教授** 博士(情報学)

担当 ロボティクス特論 機械電気システム工学特論 (システム)  
 科目 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [論文] Leader-Follower Navigation in Obstacle Environments While Preserving Connectivity Without Data Transmission, *IEEE Transactions on Control Systems Technology*, Vol. 26, No. 4, 2018. ほか。

論文 群ロボットシステムやヘビィ型ロボットなどの複雑で自由度の高いダイナミクスもつシステムを対象とし、環境の変化にも柔軟に対応できる制御手法の構築を目指して研究に取り組んでいる。

Alberto CASTELLAZZI 教授 Ph.D. in Electrical Engineering (ドイツ)

**Alberto CASTELLAZZI 教授**

担当 半導体電力変換技術  
 科目 半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 A. Castellazzi, E. Gurpinar, Z. Wang, A. S. Hussein, P. Garcia Fernandez, *Impact of Wide-Bandgap Technology on Renewable Energy and Smart-Grid Power Conversion Applications Including Storage*, *Energies* 2019, 12(23), 4462; <https://doi.org/10.3390/en12234462> (Invited - Feature paper)

論文 Wide-bandgap (WBG) semiconductor devices are making their way pivotal domains of societal infrastructure such as sustainable energy generation and conversion. Experience has highlighted a number of gains that can be drawn from this technology even when used as a straightforward drop-in substitute of silicon in established applications. Incremental in nature, these gains enable interesting progress beyond state-of-the-art. With particular reference to renewable energy power conversion and solid-state transformation, in the context of transport applications and incorporating a storage device, this paper reports on the understanding generated over the past years and points out some specific technology and circuit design requirements to ensure overall beneficial impact of the adoption of WBG technology.

リャン ジョルー  
**梁 滋璐 講師** 博士(工学)

担当 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 Liang Z, Ploderer B. (2020) "How does Fitbit measure brainwaves": a qualitative study into the credibility of sleep-tracking technologies. *PACM on Interactive, Mobile, Wearable and Ubiquitous Technologies (IMWUT)* 4(1):Article 17. ほか多数

論文 人をもっと健康的でイキイキと生きるためのウェアラブルコンピューティングと情報処理技術の研究に取り組んでいる。データ解析、人間とコンピュータのインタラクションなど幅広い学際的な研究課題に挑戦している。

**生津 資大 教授** 博士(工学)

担当 MEMS 技術と材料 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 "Strength of Carbon Nanotubes Depends on Their Chemical Structures", *Nature Communications* (2019) ほか 300 件以上

論文 ナノテクノロジーを駆使した独創的な材料研究を推進しています。独自の実験技術を使用して肉眼で見えない物に触れたり加工したり強度を測ったりして、ナノ～原子サイズの材料の振る舞いを明らかにしていきます。

**西 正之 准教授** 博士(工学)

担当 エレクトロニクス材料の物理と化学  
 科目 特別演習I~VI 特別研究I~VI

著書 [論文] "Nanoscale Raman imaging with nanogold-topped AFM probes fabricated by area-selective electroless deposition," *J. Electrochem. Soc.*, 165, D711 (2018); "Focused-ion-beam-enabled electroless growth of gold nanoparticles on silicon," *J. Ceram. Soc. Jpn.*, 126, 614 (2018).

論文 個々のナノ材料、あるいはもっと大きな材料のナノ領域がどのような物質・化学結合状態からなるのか、そしてそれが空間的にどのように分布しているのかを知るための顕微分光法に関する探針をオリジナルの技術をベースに作製しています。

求める人物像

■博士課程後期

1. グローバルな視点で社会の未来に繋がる課題の解決に意欲をもって携わりたい者。
2. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野の専門的な知識を有する修士またはそれと同等の学力を持つ社会人。
3. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野に科学的・学術的な観点からアプローチし、専門性を深めて、複雑で複合的な問題に挑戦する意欲を有する者。

教員紹介

A MESSAGE FROM OUR STUDENT

在学生からのメッセージ

学部生時代とは異なり、大学院では研究室を中心とした生活になります。大学の研究室で行われる研究は基礎から応用までさまざまであり、国内はもちろんのこと、世界の活動状況を常に把握しながら最先端の研究に携わることになります。現在、私は生津研究室でカーボンナノチューブの強さを調べる研究を行っており、学部3年生の頃からこの研究に関わってきました。「ナノサイズの材料がどれくらい強いのか?」というナノ材料に対する純粋な興味と「研究を通していろいろな問題に対する解決力を身に付けたい」という思いが大学院進学を決めた主な理由です。また、大学院では研究を通して他大学や企業など外部の人々と関わる機会があります。その中で、自らに課せられた研究=仕事を多くの人と共にゴールまで進める力と、自ら得た成果をプレゼンする力が鍛えられることも、大学院で学ぶ利点だと思います。

木野 智仁 さん



# 税理士養成コース

京都太秦キャンパス

Common Program for Attaining Certified Public Tax Accountancy(CPTA)Status

経済学研究科 経営学研究科 共通プログラム

## CONCEPT

## 研究科コンセプト

### 経済、法務、会計の各領域にわたる知識と実務能力を備えた専門的職業人を育成します。

税理士は、税務の専門家として企業が税務署に提出する申告書の作成を代行するだけでなく、決算書類の作成や会計帳簿の記帳代行などの会計業務、そして経営指導業務も担っています。さらに税理士は近年、民間企業の会計参与や地方公共団体の外部監査人としても認定され、より幅広い職域で活躍できるようになりました。したがって、こうした税理士に期待される職務遂行のためには、これまで以上に幅広い専門的な知識が不可欠であることはもちろん、公正で透明な税務行政に貢献できるような高い職業倫理意識を持つことが要請されています。本学大学院の税理士養成コースは、経済学と経営学の2つの研究科による学際的な共通プログラムを通して、このような時代的要請に応え、税務・会計領域における専門的職業人の育成をめざしています。



## めざすキャリア

### 中小企業における経営支援の担い手

- 税理士

### 民間企業・公務員における法務・会計の担い手

- 企業内税理士
- 国税専門官

## ※ 学位取得による税理士試験の科目免除制度について

本学大学院を修了し、修士論文を国税庁・国税審議会に提出して審査に通れば税理士試験の一部科目の試験免除を受けることができます。

本学税理士養成コースの場合、税法科目免除を希望する人は経済学研究科

に、会計科目免除を希望する学生は経営学研究科に、それぞれ所属することになります。一つの研究科を修了した後、もう一つの研究科に入り直す、いわゆるダブル・マスターによって両方の科目免除を得ることも可能です。

研究科	修士論文の内容	得られる学位	試験免除の内容
経済学研究科	税法に関する論文	修士(経済学)	税法2科目免除
経営学研究科	会計に関する論文	修士(経営学)	会計学1科目免除

## CURRICULUM

## カリキュラム

税理士養成コースは、経済学研究科と経営学研究科の共通プログラムであり、大学院生は、希望する演習担当者に従っていずれかの研究科に所属することになります。演習指導と必修科目は各研究科の規定に従いますが、次の各分野の履

修科目はすべて「所属研究科の修了に必要な単位」として認定されます。なお、担当者については各研究科のページをご参照ください。

### 所属する研究科での論文指導 (演習科目および必修科目)



- 経済学  
分野
- 租税論
  - 公共経済学
  - 租税制度論
  - 経済政策論
  - 財政学
  - 社会政策論
  - 金融経済論
  - 新会計基準と法人税
  - 税務会計実務

- 経営学  
分野
- 会計学研究
  - 財務諸表論研究
  - 管理会計論研究
  - 中小企業経営論研究
  - 監査論研究
  - 経営戦略論研究

- 法学分野
- 会社法
  - 租税法総論
  - 所得税法
  - 法人税法
  - 租税手続法
  - 租税争訟法
  - 法情報処理
  - 経済法
  - 民法総則

年度により開講科目が変更されることがあります。



### 各研究科固有の自由選択科目



# 経済学研究科

Graduate School of Economics

経済学専攻 修士課程

京都太秦キャンパス

CONCEPT

研究科コンセプト

## 幅広い分析能力と問題解決能力を備えた 高度な職能を誇る人材の育成をめざします。

成熟化した日本の経済社会は、少子高齢化やグローバル化、さらにはICT化など先進国に共通する課題に加え、財政赤字の急増や経済格差の拡大など、今後その影響が深刻化するものと予想される諸問題に直面しています。本研究科は、現代経済社会の特性を踏まえつつ、国民生活の環境変化に伴う諸問題を分析し、広い視野に立って深い学識を修得し、高度な専門性が求められる職業を担うことのできる人材の育成をめざしています。講義科目は、経済学研究のための「理論分野」と「政策分野」に加え、税理士資格取得に役立つ「経営学・法学分野」から構成され、それぞれの研究テーマに応じて体系的に学びを深化させていきます。また所定の科目群(p.4参照)の単位を修得することにより、ファイナンシャルプランナーの国際資格「CFP」の受験資格が取得できる『CFP認定教育プログラム』も用意されています。



めざすキャリア

経済社会活性化の担い手

- 民間企業
- 公務員

金融経済の担い手

- 税理士
- 金融アナリスト

CURRICULUM

カリキュラム

経済学の標準的な教育プログラムに基づきつつ、政策形成能力の養成に必要な専門知識の修得を重視。大きくは講義科目と演習科目に分かれ、講義科目は経済学的な思考方法と分析方法を重視した「理論分野」と、現実の政策課題を多角

的・総合的に分析し考察する「政策分野」で構成。両分野に共通する科目群としての統計処理やコンピュータ処理に関する領域も充実しています。

<p><b>理論分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済学史</li> <li><input type="checkbox"/> 近代経済学史</li> <li><input type="checkbox"/> ミクロ経済学</li> <li><input type="checkbox"/> ミクロ経済分析</li> <li><input type="checkbox"/> マクロ経済学</li> <li><input type="checkbox"/> マクロ経済分析</li> <li><input type="checkbox"/> 計量経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 経済統計学</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列データ分析</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列モデル</li> <li><input type="checkbox"/> 情報科学</li> <li><input type="checkbox"/> 金融経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 国際経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 国際金融論</li> <li><input type="checkbox"/> 財政学</li> <li><input type="checkbox"/> 公共経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 経済社会学</li> <li><input type="checkbox"/> 社会経済史</li> <li><input type="checkbox"/> 西洋経済史</li> <li><input type="checkbox"/> パーソナルファイナンス</li> <li><input type="checkbox"/> リスクの経済学</li> <li><input type="checkbox"/> リスク・マネジメント</li> <li><input type="checkbox"/> 不動産運用設計</li> </ul>	<p><b>【演習科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 理論経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 経済学史演習</li> <li><input type="checkbox"/> 計量経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列解析演習</li> <li><input type="checkbox"/> 金融経済論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 社会経済史演習</li> </ul>	<p><b>政策分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 比較経済政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 公共政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 社会政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 産業政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 金融政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 財政政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 地域経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 交通経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税制度論</li> <li><input type="checkbox"/> 税務会計実務</li> <li><input type="checkbox"/> 新会計基準と法人税</li> <li><input type="checkbox"/> 技術移転論</li> <li><input type="checkbox"/> 技術戦略論</li> </ul>	<p><b>【演習科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済政策論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 公共経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 監査論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 地域経済論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 地域交通論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 租税論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 技術移転論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 社会政策論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 租税法演習</li> </ul>	<p><b>経営学・法学分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経営戦略論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 中小企業経営論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 会計学研究</li> <li><input type="checkbox"/> 監査論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 管理会計論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 財務諸表論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 租税法総論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税手続法</li> <li><input type="checkbox"/> 租税争訟法</li> <li><input type="checkbox"/> 所得税法</li> <li><input type="checkbox"/> 法人税法</li> <li><input type="checkbox"/> 民法総則</li> <li><input type="checkbox"/> 行政作用法</li> <li><input type="checkbox"/> 会社法</li> <li><input type="checkbox"/> 経済法</li> <li><input type="checkbox"/> 法情報処理</li> </ul>
---	--	--	---	--

年度により開講科目が変更されることがあります。

ADMISSION POLICY

求める人物像

本研究科では、経済学部卒業生及びこれらと同等の学力を有する者で、かつ以下の条件を満たす者を受け入れる。  
1. 高度な専門性を身につけて、社会の様々な分野で活躍する職業人を目指す者。  
2. 経済学に立脚しつつ経営学や法学等の学問領域横断的な問題に対する解答を見出したい者。

TEACHING STAFF

教員紹介

<p><b>跡田 直澄 教授</b> 博士(経済学)</p> <p>担当 財政学 財政政策論</p> <p>科目 財政学 財政政策論</p> <p>著書 「社会保障一体改革への途」(清文社) 「企業税制改革」(日本評論社) ほか多数</p> <p>税・財政・社会保障政策の家計・企業・マクロ経済に与える影響を実際のデータに基づいて分析し、政策のあり方を研究する。</p>	<p><b>大野 彰 教授</b> 経済学修士</p> <p>担当 社会経済史 西洋経済史 社会経済史演習</p> <p>科目 社会経済史 西洋経済史 社会経済史演習</p> <p>著書 「外国経営史の基礎知識」(共著:有斐閣) ほか多数</p> <p>資料を集め、これに様々な解釈を加えることによって、歴史的な角度から経済について考察することが、本演習の目標である。受講生が興味をもって経済史を学べるようにしたい。</p>	<p><b>木藤 伸一郎 教授</b> 修士(法学)</p> <p>担当 行政作用法 行政経済法</p> <p>科目 行政作用法 行政経済法</p> <p>著書 「団体訴訟の可能性」(京都学国法学30・31号) 「公衆浴場と法」(立命館法学321・322号) ほか多数</p> <p>行政法総論のうち、基本原理と行政作用法の部分を扱う。国や地方自治体が行う行政作用にはどのような種類があり、その法的な意味を学ぶ。</p>
<p><b>久下 沼仁 筒 教授</b> 経済学修士</p> <p>担当 公共経済学 公共政策論 公共経済学演習</p> <p>科目 公共経済学 公共政策論 公共経済学演習</p> <p>著書 「ポスト福祉国家の総合政策」(ミネルヴァ書房) 「制度の経済学」(中央大学出版) ほか多数</p> <p>政府による市場経済への介入がもたらす経済効果について、政府内部での政策決定に関する政治過程にも焦点を当て分析する。また現代日本の具体的な政策課題への政府の対応の在り方を検討する。</p>	<p><b>平田 謙輔 教授</b> 修士(経済学)</p> <p>担当 経済社会学 社会政策論 社会政策論演習</p> <p>科目 経済社会学 社会政策論 社会政策論演習</p> <p>著書 「社会保障の光と影」(高倉出版) 「Wレボラの経済・社会政策構想」 ほか多数</p> <p>社会保障の意義と課題について理解を深めるとともに、福祉国家が抱える問題とその転換の方向について考察する。</p>	<p><b>堀村 不器雄 教授</b> 商学修士 公認会計士</p> <p>担当 租税論 租税制度論 税務会計実務</p> <p>科目 租税論 租税制度論 税務会計実務 新会計基準と法人税 租税論演習</p> <p>著書 「会社税務事例300選」(共著:清文社) 「資本取引等をめぐる会計と税務」(監修:清文社) ほか多数</p> <p>日本の税法ないし税制について体系的に理解した上で、その現状と問題点、あるべき姿といった点について、各自が自分のテーマに従って深く掘り下げ、修士論文として完成させることを目指す。</p>
<p><b>村井 淳一 教授</b> 修士(法学)</p> <p>担当 租税法演習 租税法総論 租税法手続法</p> <p>科目 租税法演習 租税法総論 租税法手続法</p> <p>著書 「租税訴訟と要件事実論」(共著:清文社) 「中小企業の会計に関する指針ガイドブック」(共著:清文社) ほか多数</p> <p>すべての経済活動は税負担に影響を与える。税法の基礎理論を前提としつつ、「税目」ごとの知識にとどらず横断的な理解に主眼を置いて、現実の経済活動に税法を的確に当てはめるための理論的思考力を身につけられるよう、原生の皆さんとともに議論、研究していきたいと思ふ。</p>	<p><b>村田 淑子 教授</b> 修士(アメリカ研究)</p> <p>担当 経済法 法情報処理</p> <p>科目 経済法 法情報処理</p> <p>著書 「英国競争法の最近の動向—競争・市場庁の創設を中心に—」 「(競争法の理論と課題)所収」[欧州と日本における証券取引所グループの合併と競争法](同志社法学71巻1号) ほか多数</p> <p>「経済法」では、市場経済における「公正かつ自由な競争」を促進する独占禁止法について、主にカルテル規制を中心に検討する。「法情報処理」では、法学部出身者以外による法学の修士論文作成に必要なスキルの習得を目指す。</p>	<p><b>渡辺 恵一 教授</b> 経済学修士</p> <p>担当 経済学史 近代経済学史 経済学史演習</p> <p>科目 経済学史 近代経済学史 経済学史演習</p> <p>著書 「Adam Smith's Politics of Taxation」, in The Rise of Political Economy in the Scottish Enlightenment (Routledge, 2003). ほか多数</p> <p>演習では、経済理論の書であると同時に歴史・政策・国家財政を体系的に記述したアダム・スミスの名著「国富論」(全5編)の読破を通じて現代経済学の源流を研究する。</p>
<p><b>川崎 雄二郎 准教授</b> 博士(経済学)</p> <p>担当 ミクロ経済学 ミクロ経済分析 計量経済学 経済統計学</p> <p>科目 ミクロ経済学 計量経済学演習</p> <p>著書 "One-to-many non-cooperative matching games," International Journal of Game Theory, 42(2), 2013. "Strategy-proof matching with regional minimum and maximum quotas," (共著) Artificial Intelligence, 235, 2016. ほか多数</p> <p>マッチング理論・ゲーム理論を用いて、社会における制度・システム・慣習などに潜む諸問題の構造を理解し、状況改善に向けて解決策の提案を行う。</p>	<p><b>木口 武博 准教授</b> 博士(経済学)</p> <p>担当 マクロ経済学 マクロ経済分析 理論経済学演習</p> <p>科目 時系列データ分析 時系列モデル 時系列解析演習</p> <p>著書 "Immigration and Unemployment: A Macroeconomic Approach" Macroeconomic Dynamics (2017) ほか多数</p> <p>学部上級から大学院レベルのマクロ経済学に関心のある学生を受講対象として、現代マクロ経済学の理論や時系列解析の手法について学んでいきます。</p>	<p><b>澤田 吉孝 准教授</b> 博士(商学)</p> <p>担当 金融経済論 経済政策論 金融経済論演習</p> <p>科目 金融経済論 経済政策論 金融経済論演習</p> <p>著書 "The Effectiveness of Unconventional Monetary Policy in USA," Proc. of the 45th ISIC International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications (SSS' 13), 2013. ほか多数</p> <p>無知からくる「誤った政策」は、善意であっても災禍をもたらす。このことを念頭に最新の金融理論を用いて日本の金融政策を批判的に分析する。併せて金融を読み解く力の育成を目指す。</p>
<p><b>清水 裕子 准教授</b> 博士(経営管理)</p> <p>担当 経済政策論 比較経済政策論 経済政策論演習</p> <p>科目 経済政策論 比較経済政策論 経済政策論演習</p> <p>著書 "The Locavore's Dilemma," (Public Affairs, 2012)(共著) "Blowing Hot Air on the Wrong Target? "(Frontier Center for Public Policy, 2016)(共著) ほか多数</p> <p>グローバル化が進む中での国際貿易・経済の発展とその効果と影響について、学際的に実例を踏まえながら学んでいきます。</p>	<p><b>土屋 貴裕 准教授</b> 修士(経済学) 博士(安全保障学)</p> <p>担当 産業政策論 地域経済論 地域経済論演習</p> <p>科目 産業政策論 地域経済論 地域経済論演習</p> <p>著書 「現代中国の軍事制度:国防費・軍事費をめぐる党・政・軍関係」(勁草書房) ほか多数</p> <p>日本および東アジアの地域経済について、フィールドワークを実施したり、統計データや資料を利用して理解を深めていく。修士論文の執筆を通じて、地域が抱える課題を分析し、解決策としての経済産業政策を検討する。</p>	<p><b>道和 孝治郎 准教授</b> 博士(経済学)</p> <p>担当 国際金融論</p> <p>科目 国際金融論</p> <p>著書 「新しい開放マクロ経済学」に基づく金融政策の国際波及効果—ドル建て取引を仮定した日米ANIES3ヶ国モデルによる分析—(一橋大学「経済研究」59-1, 2008) ほか多数</p> <p>国際金融論の理論モデルを学ぶ。学部上級レベルの内容から始まり、最終的には、近年の最新トピックである「新しい開放マクロ経済学」の内容の修得を目指す。</p>
<p><b>李 立栄 准教授</b> 博士(学術)</p> <p>担当 国際経済学</p> <p>科目 国際経済学</p> <p>著書 「資本市場の変貌と証券ビジネス」[変貌する金融と証券業] (ともに共著:日本証券経済研究所)、「パーソナルファイナンス研究の新しい地平」(共著:文眞堂) ほか多数</p> <p>国際貿易、国際マクロ経済学に関する理論モデルを学習するとともに、現実と直面する諸問題の実証分析の方法を身に付ける。修士論文を論理的に書くことを目標とする。</p>		

MESSAGE FROM GRADUATE

修士生からのメッセージ

私は、2012年3月に大学院経済学研究科で学位を取得し、現在は京都の宇治支部に所属する税理士として仕事をしております。税理士という職業は、税法はもちろんのこと、実務をする上では、社会保険や労働保険等、様々な知識が必要となります。そのため、京都学国大学大学院で税法の基礎を学び、また、判例研究や多くの論文を読む機会があったことは、現在、仕事をしていく上でとても有意義な時間であったと思えます。税理士は、複雑かつ多様なケースごとに税務上の判断をしなければならない税法の専門家であるため、判例研究をすることで税法の解釈等をより深くかつ広範に学ぶことは大変重要です。いつの日か、京都先端科学大学大学院の修士生の方々とお会いし、同じ税理士として仕事の話ができることを楽しみにしております。

経済学研究科修士 吉良 武人 さん



# 経営学研究科

Graduate School of Business Administration

経営学専攻 修士課程

京都太秦キャンパス

## CONCEPT

研究科コンセプト

## 経営的・会計的思考を駆使し 次代をリードする専門的職業人を養成します。

情報技術の進化やグローバル化の進展により、企業を取り巻く環境は激しく変化し続けています。さまざまな状況に対して柔軟且つ迅速に対応できる戦略的思考や判断が今後一層求められるのは言うまでもありません。本研究科では、今後の日本および国際社会において活躍できるビジネスパーソンと専門的職業人の育成をめざします。



### めざすキャリア

#### 企業経営の担い手

- 企業の経営企画部門
- 企業の戦略・戦術策定者
- 企業の中堅管理者
- 経営コンサルタント

#### 税務・会計の担い手

- 企業の会計担当
- 税理士
- 資産運用
- 中小企業診断士

#### 企業運営の担い手

- 中小企業・商店の起業家・経営者
- 企業のインストラクター(社内起業家)
- 企業・官公庁のプランナー
- 各種プロデューサー

## CURRICULUM

カリキュラム

本研究科は、「経営管理科目群」「会計科目群」「情報科目群」におけるいずれかの演習、ならびに各自の研究テーマと関連する諸研究領域を通じて修士論文の

完成に向けて指導し、今後の社会に求められる能力・資質を育成します。

経営管理 科目群	<input type="checkbox"/> 経営管理論研究 <input type="checkbox"/> 人的資源管理論研究 <input type="checkbox"/> 経営組織論研究 <input type="checkbox"/> マーケティング論研究 <input type="checkbox"/> 中小企業経営論研究 <input type="checkbox"/> 経営戦略論研究 <input type="checkbox"/> 起業論研究	【演習科目】 <input type="checkbox"/> 経営管理論演習 <input type="checkbox"/> マーケティング論演習 <input type="checkbox"/> 経営戦略論演習 <input type="checkbox"/> 経営組織論演習
	経済学 科目群	<input type="checkbox"/> 金融経済論 <input type="checkbox"/> 経済政策論 <input type="checkbox"/> 租税制度論 <input type="checkbox"/> 財政学 <input type="checkbox"/> 社会政策論

会計 科目群	<input type="checkbox"/> 会計学研究 <input type="checkbox"/> 監査論研究 <input type="checkbox"/> 財務諸表論研究 <input type="checkbox"/> 管理会計論研究	【演習科目】 <input type="checkbox"/> 会計学演習 <input type="checkbox"/> 財務諸表論演習 <input type="checkbox"/> 管理会計論演習
情報 科目群	<input type="checkbox"/> 情報管理論研究 <input type="checkbox"/> 情報処理研究 <input type="checkbox"/> アジア情報研究	【演習科目】 <input type="checkbox"/> 情報管理論演習
法学 科目群	<input type="checkbox"/> 租税法総論 <input type="checkbox"/> 会社法 <input type="checkbox"/> 法人税法 <input type="checkbox"/> 租税手続法 <input type="checkbox"/> 所得税法 <input type="checkbox"/> 経済法	<input type="checkbox"/> 法情報処理 <input type="checkbox"/> 租税争訟法 <input type="checkbox"/> 民法総則 <input type="checkbox"/> 物権総論 <input type="checkbox"/> 家族法 <input type="checkbox"/> 契約法

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

求める人物像

- 本研究科は、本研究科修士課程の履修に必要とされる基礎的な能力を有し、なおかつ次のような資質を備えた人物を求める。
- 1.経営と会計に関する専門的な知識をバランスよくあわせもつ専門的職人の育成という本研究科の教育目的を理解している者。
  - 2.すぐれた組織経営の原理の究明や、生きた経営の中でその課題を克服する実践的手法を修得する情熱をもっている者。
  - 3.現実への幅広い問題意識と旺盛な探求心を持ち、起業や事業承継などを志すフロンティア精神をもっている者。

## TEACHING STAFF

教員紹介

<b>安達 房子 教授</b> 修士(経営学) 担当科目 経営組織論演習 経営組織論研究 著書 「ICTを活用した組織変革—マネジメントの視点からのテレワークの分析」(単著:晃洋書房)「組織能力と企業経営」(共著:晃洋書房) ほか多数 論文 「経営組織に関する諸理論の理解を深め、現実の企業組織の抱える諸問題を発見し解決する能力を育成する。」	<b>小野里 光広 教授</b> 修士(法学) 修士(国際経営学) 担当科目 会社法 著書 「イギリス会社法における取締役の行為の追認とその限界」(国際商事法務Vol.46, No.8)「オーストラリア会社法における「支払不能取引」回避義務(2-完)」(京都先端科学大学経済経営学部論集1号) ほか多数	<b>大島 博行 教授</b> 修士(都市ビジネス) 担当科目 経営戦略論演習 経営戦略論研究 著書 「『日本発』MBA 戦略&マネジメント【実践編】」(共著:中央経済社)「CKO—ナレッジを活かす経営」(共著:生産性出版) ほか多数 論文 ケーススタディを通じて、経営戦略に関する各種フレームワークを試し、その有用性と限界について各自の視点で検証する。実際の企業の現場でフレームワークを使いこなし、経営戦略を策定できる力を育成する。
<b>倉田 致知 教授</b> 修士(経済学) 担当科目 経営管理論演習 経営管理論研究 著書 「やさしく学ぶ マネジメントの学説と思想」(共著:ミネルヴァ書房)「東アジア諸国の企業経営とグローバルゼーション」(共著:晃洋書房) ほか多数 論文 現実の企業の活動を経営理論に基づき論理的に捉えられるよう促すとともに、中核を担えるよう組織の全体的な仕組みを経営諸資源と関連付けて理解する力を育む。	<b>新長 章典 教授</b> 経済学修士 担当科目 情報管理論演習 情報管理論研究 著書 「東アジアの経済発展」ネットワーク型協調設計支援と設計プロセスに関する研究」 ほか多数 論文 激変する情報環境と管理方法についてケーススタディ、その中から研究テーマを選んで実証研究を繰り返して、各自の視点での情報管理手法を策定、運用していくことができる力を育成していく。	<b>袖川 芳之 教授</b> 博士(経営管理) 担当科目 マーケティング論演習 マーケティング論研究 著書 「幸福の方程式」(共著:ディスカヴァー・トゥエンティワン)「低欲望社会における消費社会の変貌に関する研究—「欲望」の構造から読み解く消費の多様化—」(博士論文) ほか多数 論文 常に変化し続ける経営環境をウォッチし、その変化のインパクトと影響を把握し、対応策をクリエイティブにデザインします。そのために人間と社会に関する理解を様々な視点から深めます。
<b>藤川 義雄 教授</b> 経営学修士 担当科目 財務諸表論演習 財務諸表論研究 著書 「現代会計の思潮」(共著:同文館)「国際会計の基本問題」(共著:同文館) ほか多数 論文 会計は現在、急激な変化の中にある。国際会計基準との差異解消という大きな課題を抱え、その論点はバラエティに富んでいる。問題の本質がどこにあるのか、学生とともに探究していきたい。	<b>山下 勤 教授</b> 博士(文学) 担当科目 アジア情報研究 著書 「Some Notes on the Bheda(la)samhita」Dominik Wujastyk ed., Mathematics in Sanskrit, Delhi, 2008, pp.193-204. ほか多数	<b>右近 潤一 准教授</b> 修士(法学) 担当科目 物権総論 契約法 著書 論文 「返品制度のあり方(特集2通信販売)」(現代消費者法30号)「ドイツ債務法現代化の経験(1)(2完)」(共著:関大法64巻5号-6号) ほか多数
<b>付 馨 准教授</b> 博士(経営学) 担当科目 会計学演習 会計学研究 著書 「財務会計のイノベーション—公正価値・無形資産・会計の国際化による知の創造—」(共著:中央経済社)、「統合報告革命」(共著:税務経理協会) ほか多数 論文 社会経済の発展に伴い、企業の在り方が変化し、企業会計もそれに伴って変わりつつある。基礎文献を渉猟しつつ、学術と実務の最新動向を掴み、会計学の諸問題を解決する力を育む。	<b>色川 豪一 講師</b> 修士(法学) 担当科目 家族法 民法総則 著書 論文 「フランスにおける成年子扶養」(家族(社会と法)28号)「フランスにおける面会交流制度」(『面会交流と養育費の実務と展望』所収) ほか多数	<b>呉 綺 講師</b> 博士(経営学) 担当科目 管理会計論研究 著書 論文 「中国におけるMFCAの展開」(共著:同文館出版)「マテリアルフローコスト会計の理論と実践」所収)「補論中国における低炭素型サプライチェーン経営の調査分析結果」(共著:中央経済社)「低炭素型サプライチェーン経営—MFCA&LCAの統合—」所収) ほか多数
<b>江 向華 准教授</b> 博士(学術) 担当科目 起業論研究 著書 論文 「中国大企業の競争力分析」(単著:中央経済社)「サービス社会のマネジメント」(共著:同文館出版) ほか多数	<b>金井 猛徳 准教授</b> 博士(緑地環境科学) 担当科目 情報処理研究 著書 論文 「3次元深度センサを用いたジェスチャ操作によるデジタル教材システムの提案」(共著:コンピュータ&エデュケーション, No.46, pp.70-75)「Assessing daily tropical rainfall variations using a neuron-fuzzy classification model」(共著:Journal of Ecological Informatics, 2(2), pp.159-166) ほか多数	<b>大竹 恵子 講師</b> 博士(政策科学) 担当科目 人的資源管理論研究 著書 論文 「よくわかる看護組織論」(共著:ミネルヴァ書房)「日本の介護職におけるワーク・ライフ・バランスの問題点—文献レビューを通して—」(単著:『同志社政策科学研究』第19巻第1号, pp.313-322) ほか多数



# 人間文化研究科

Graduate School of Humanities and Social Sciences

人間文化専攻 修士課程

京都太秦キャンパス

CONCEPT

研究科コンセプト

## 文化・社会・人間の心を複眼的に追究。 高度な専門職業人の養成をめざします。

人々の価値観が揺らぎ、人間関係を形成する社会システムも人間の心の中も、従来の価値体系では解決策を見いだせない現代。人間の生き方、社会システムの在り方、文化の機能を多角的に解明する学問の構築が求められています。人間文化研究科は、「文化研究」「社会情報」「心理学」の3つの教育研究領域を有機的に連関させ、高度な専門職業人の養成を追究。臨床心理学コースは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院で、国家資格である「公認心理師」の受験資格も取得することができます。さらに、中学校教諭(社会)、高等学校教諭(地理歴史)の専修免許状が取得できます。



### 〈文化研究領域〉

日本とアジアを中心とした文化遺産と文化的伝統、人々の生活の中で作用している文化の機能の諸相と特質を、文化、地理、歴史、思想、言語、文学等の側面から探究する。

文化  
Culture

社会  
Society



人間の心  
Mind

### 〈社会情報領域〉

各種メディアにおいて情報技術が発達するとともに大きく変動しつつある現代社会と文化の動向を探り、そこに生じる新たな社会的諸問題を理論的・実践的に研究する。

### 〈心理学領域〉

家庭・学校・地域社会などにおける実際の課題を発見し解決する人材を育成する「心理学コース」と、心の健康に関わる援助者としての心構えと知識、そして技能を備えた専門家を育成する「臨床心理学コース」の2つがある。人間の心の機能とその形成過程を解明する。

### めざすキャリア

#### 中・高等学校教育の担い手

- 中学校教諭(専修免許状/社会)
- 高等学校教諭(専修免許状/地理歴史)

#### 人々の精神的健康の担い手

- 臨床心理士
- 公認心理師

### CURRICULUM

### カリキュラム

日本・アジアの文化と歴史を中心に研究する「文化研究コース」、現代の社会問題や情報メディアを研究する「社会情報コース」、認知・学習・発達・社会など心理学の各分野を研究する「心理学コース」、臨床心理士や公認心理師の受

験資格の取得をめざす「臨床心理学コース」(日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院)の4コースを設定。多様な領域の研究者が本科を構成し、複眼的な研究ができる環境を作っています。

**文化研究コース**

- 人間文化基礎特論
- 日本歴史文化特論
- 日本語文化特論
- 日本古典文学特論
- 文化地理特論
- 文化人類学特論
- 都市文化史特論
- 英語言語学特論

【演習科目】

- 日本歴史文化研究演習
- 日本語文化研究演習
- 日本古典文学研究演習
- 文化地理研究演習
- 文化人類学研究演習

その他選択科目多数

**社会情報コース**

- 人間文化基礎特論
- 政治社会学特論
- ジェンダー社会学特論
- ジャーナリズム特論
- 映像文化特論
- 映像制作特論
- 理論社会学特論
- コミュニケーション社会学特論
- マルチメディア特論
- 広告広報特論
- 図書館情報文化特論
- 情報メディア法特論
- 環境社会特論

【演習科目】

- 社会学研究演習
- ジェンダー社会学研究演習
- ジャーナリズム研究演習
- コミュニケーション社会学研究演習
- 広告広報研究演習

その他選択科目多数

**心理学コース**

- 人間文化基礎特論
- 心理学研究法特論
- 学習心理学特論
- 認知心理学特論
- 発達心理学特論  
(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- 家族心理学特論
- 社会心理学特論
- 集団心理学特論
- 障害児心理学特論  
(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- 実験心理学特論
- 計量心理学特論
- 感情心理学特論
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開

【演習科目】

- 心理学研究演習

その他選択科目多数

**臨床心理学コース**

- 人間文化基礎特論
- 臨床心理学特論
- 臨床心理面接特論  
(心理支援に関する理論と実践)
- 臨床心理基礎実習
- 臨床心理実習  
(心理実践実習)
- 心理学研究法特論
- 学習心理学特論
- 認知心理学特論
- 発達心理学特論  
(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- 家族心理学特論
- 社会心理学特論
- 障害児心理学特論  
(福祉分野に関する理論と支援の展開)
- 精神医学特論  
(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
- 心理療法特論
- 臨床心理関連行政論

- 心身医学特論
- 臨床心理学研究法特論
- コミュニティ・アプローチ特論  
(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
- 心の健康教育に関する理論と実践

【演習科目】

- 臨床心理査定演習  
(心理的アセスメントに関する理論と実践)
- 臨床心理学研究演習

その他選択科目多数

年度により開講科目が変更されることがあります。

### ADMISSION POLICY

### 求める人物像

本研究科は、本研究科修士課程の履修に必要とされる基礎的な能力を有し、なおかつ次のような資質を備えた人を求める。  
文化研究コースでは、日本の文化遺産と文化的伝統、人々の生活の中で作用している文化の態様とその特質を地理、思想、歴史、言語、文学等の側面から教育研究したい者。  
社会情報コースでは、各種メディアによる情報伝達技術に関心を持ち、現代の社会と文化に関する幅広い興味を有し、そこに生じる社会的諸問題の解決に寄与する能力を身につけたいと考えている者。  
心理学コースでは、人間として基本的な心理と行動を対象として教育研究したい者。  
臨床心理学コースでは、人間の心に関する深い理解を基礎にして、臨床心理学を専門的に修得し、心の健康に関わる援助者としての心構えと知識・技能を兼ね備えた心の専門家を目指す者。



TEACHING STAFF

教員紹介

日本とアジアの文化と歴史、社会学、マスメディア論、心理学、臨床心理学など、多様な領域の研究者が一つの研究科を構成し、複眼的な研究ができる環境を作っています。経歴面では、アカデミックな経歴の長い者から、新聞社や病院な

どでの勤務経験が長く現場を熟知した研究者までが揃い、多様な研究アプローチが用いられています。

心理領域

**有馬 淑子 教授** 博士(人間科学)

担当科目 心理学研究演習 社会心理学特論 集団心理学特論

著書 「集団と集合知の心理学」(ナカニシヤ出版)  
論文 「極端化する社会」(北大路書房) ほか多数

社会心理学における発展的課題に各自で取り組む。英語文献を輪読し、データ解析・アクセス解析の実習を行う。

**岡本 裕介 教授** 学術修士

担当科目 コミュニケーション社会学研究演習  
コミュニケーション社会学特論

著書 「コミュニケーション社会学入門」(共著:世界思想社)  
論文 「G.H.ミードの行動主義と「I」の他者性」ほか多数

コミュニケーションは社会の不可欠の構成要素である。さまざまな社会的事象をコミュニケーションという視点からとらえ、社会について考える。

**小川 賢治 教授** 文学修士

担当科目 社会学研究演習 政治社会学特論

著書 「勲章の社会学」(晃洋書房)  
論文 「基本的人権と日本社会のモダンティ」 ほか多数

社会学の古典的な文献を研究することによって社会的な思考を再確認し、並行して日本社会における民主主義の問題についても考える。

**君塚 洋一 教授** 文学修士

担当科目 広告広報研究演習 広告広報特論

著書 「選曲の社会史—「洋楽かぶれ」の系譜」(日本評論社)  
論文 「文化としてのテレビ・コマーシャル」(共著:世界思想社)  
「イメージ編集」(共著:武蔵野美術大学出版局) ほか多数

メディア論、広告広報、ブランド、地域づくり、表現文化などをテーマとする修士論文の執筆、作品の研究・制作を行う。文献研究やサーベイとあわせ、メディアや地域の現場とのネットワークを活かした指導を行う。

**久保 克彦 教授** 文学修士 臨床心理士

担当科目 臨床心理学研究演習 臨床心理学特論  
臨床心理実習 臨床心理査定演習

著書 「実践 糖尿病の心理臨床」(医歯薬出版)  
論文 「糖尿病教育入院へのグループ療法導入の試み」(心理臨床学研究) ほか多数

臨床心理学の理論や研究方法の理解を深めると共に、各自の研究テーマに即して研究計画を組み立て修士論文を作成する。この過程で、臨床心理学のより専門的な探究を推し進められるよう指導する。

**内藤 登世一 教授** Ph.D(環境・資源経済学)

担当科目 環境社会特論

著書 「Mangrove Ecosystem in Asia: Current Status, Challenges and Management」(共著)  
論文 「Assessment of Japanese Recycling Policies for Home Electric Appliance: Cost-effectiveness Analysis and Socioeconomic and Technological Implications.」Environmental Development ほか多数

**山 愛美 教授** 博士(教育学) 臨床心理士

担当科目 臨床心理学研究演習 臨床心理面接特論  
臨床心理実習

著書 「言葉の深みへ」(誠信書房)、「黒の創造 香月泰男」(遠見書房)、「村上春樹、方法としての小説」(新曜社)他、日本人の精神性や文化に関する英文の論文も多数。

国内外の学術論文や著書などの文献を講読し、研究テーマを決定。各自の研究内容に即して、研究の目的、研究領域における位置付けを明らかにし、幅を広げる。

**行廣 隆次 教授** 教育学修士

担当科目 心理学研究演習 心理学研究法特論 認知心理学特論  
計量心理学特論

著書 「コネクショニスト・モデルと心理学—脳のシミュレーションによる心の理解—」(北大路書房) 「ワーキングメモリ内の処理と貯蔵のトレードオフ—の処理と空間処理を用いた検討—」(「人間文化研究」) ほか多数

認知心理学や計量心理学分野から研究テーマを選び、先行研究を踏まえて実証的な研究を行い、修士論文を作成する。

**田中 史子 教授** 博士(教育学) 臨床心理士 公認心理師

担当科目 臨床心理面接特論 臨床心理実習  
臨床心理学研究演習 臨床心理学研究法特論

著書 「物語(tale)の臨床心理学」(創元社)  
論文 「矛盾、曖昧さ、荒唐無稽さを含んだ物語について—」(Lévy-Bruhlの「原始神話学」と臨床心理学的視点—)など

「臨床心理学研究演習」「臨床心理実習」などを担当。これらの科目では、知識や技術だけではなく、心理臨床家としての姿勢・態度を学ぶことを重視している。

**伊原 千晶 准教授** 教育学修士 臨床心理士 公認心理師

担当科目 臨床心理基礎実習 臨床心理学特論

著書 「生命と魂—心身論の観点から」  
論文 「臨床心理学とコミュニケーション」  
「心理臨床の法と倫理」 ほか多数

**飯野 秀子 准教授** 教育学修士 臨床心理士 公認心理師

担当科目 臨床心理基礎実習 臨床心理実習

著書 「ロールシャッハ法における、査定者の臨床イメージ体験のあり方と機能」 「絵画表現の歴史から見たロールシャッハ法の陰影反応」 ほか多数

**服部 陽介 准教授** 博士(心理学)

担当科目 感情心理学特論

著書 「記憶心理学と臨床心理学のコラボレーション」(共著、北大路書房)「講義中のマインドワンダリングに対する意図的抑制とネガティブな気分の関係」(「パーソナリティ研究」) ほか多数

**上松 幸一 准教授** 教育学修士 臨床心理士 公認心理師

担当科目 臨床心理査定演習 コミュニティ・アプローチ特論  
臨床心理実習

著書 「教育相談—よくわかる!教職エクササイズ—」(共著・ミネルヴァ書房) 「不登校児へのシステム論的視点を用いた介入—父子、母子合同箱庭を用いて—」(家族心理学研究)

心理テストの演習や事例検討などを用いて、心理臨床の現場で即戦力として活躍できるよう、指導を行う。授業では、「自分で考える力」と「助け合う力」が特に重要視される。

歴史文化領域

**乳原 孝 教授** 修士(文学)

担当科目 人間文化基礎特論

著書 「エリザベス朝時代の犯罪者たち」(嵯峨野書院)  
論文 「忌情」に対する闘い」(嵯峨野書院) ほか多数

**平 雅行 教授** 博士(文学)

担当科目 日本歴史文化研究演習 日本歴史文化特論

著書 「日本中世の社会と仏教」(塙書房)、「鎌倉仏教と専修念仏」(法蔵館)、「親鸞とその時代」(同) ほか多数

史料の正確な読解と分析は歴史学の基本です。関連論文を精査しながら、歴史学の面白さと苦しさと一緒に楽しみましょう。

**手塚 恵子 教授** 文学修士

担当科目 文化人類学研究演習 文化人類学特論

著書 「中国広西壮族歌壇調査記録」(大修館書店)  
論文 「京の筏 コモンズとしての保津川」(共著:ナカニシヤ出版) ほか多数

文化人類学は文化をフィールドワークし、それを分析する方法論を積み上げてきた。これらの基本的な文献を学び、その方法論を生かしてフィールドワークを行う。そこで得たデータを分析することを通じて、民族誌もしくは論文を書き上げる。

**丸田 博之 教授** 博士(文学)

担当科目 日本語文化研究演習 日本語文化特論

著書 「伯楽と博労」(「国語語彙史の歴史」)  
論文 「日葡辞書の編者とその周辺」(「国語国文」) ほか多数

先行研究を精査しながら、各人がいかなる事象を研究対象とするのかを十分検討した上でテーマを設定し、日本語学の問題点を明らかにすることに全力を注ぐことができるよう指導を行う。

**山崎 ふさ子 教授** 文学修士

担当科目 日本古典文学研究演習 日本古典文学特論

著書 「元禄文学の流れ」(共著)  
論文 「『夢窓の鯉魚』と『国語国文』」 ほか多数

何かひとつの作品、または作家や歌人などに焦点を合わせ、作品の内容や時代背景、先行作品との関係などについてどのように研究が進んできたかを検証する。

**山本 淳子 教授** 博士(人間・環境学)

担当科目 日本古典文学研究演習 日本古典文学特論

著書 「紫式部集論」(和泉書院)「紫式部日記と王朝貴族社会」(同)「源氏物語の時代」(朝日新聞出版)「枕草子のたくらみ」(同) ほか多数

平安時代の作品を選び、本文批判・考証・表現などの基礎作業を重ねたうえで、自分なりの読みの可能性に取り組む。

**鍛冶 宏介 教授** 博士(文学)

担当科目 日本歴史文化特論 日本歴史文化研究演習

著書 「海士町村上家文書調査報告書」(海士町)  
論文 「読書と読者」(共著、平凡社) ほか多数

歴史学の基本である、研究史との格闘、史料の博捜・読解を徹底的に行うことで、新しい歴史像を描き出すための鍛錬を行っている。研究者として、ともに切磋琢磨しましょう。

**関口 久雄 准教授** 修士(社会学) 修士(学際情報学)

担当科目 マルチメディア特論

著書 「インターフェイス—コンピューターと対峙する時」(ひつじ書房)  
論文 「メディアのプリローージュ」(冬弓舎) ほか多数

**スティーブンリッチモンド 准教授** 修士(応用言語学)

担当科目 英語言語学特論

著書 「世界をもてなすシンプルな英会話」(学研プラス)「Teaching the Golden Rules of English Conversation」(共著)「The Immediate Method-Task-based Learning in Japanese University Conversation Classrooms」 ほか多数



MESSAGE FROM GRADUATE 修了生からのメッセージ

私は現在、精神科病院の地域生活支援センターで臨床心理士として働いています。心の病や障害を抱えている方、その家族との相談や、障害者の方のケアが仕事です。大学院では理論や知識はもちろん、実習機関や大学付属の相談室での実践によって、実際にクライアントとどうかわればいいのか学べたことが今の仕事に役立っています。

一番印象的だったのは、先生が「ヨコの関係」についてお話されたことです。「医者と患者の関係は“治す・治される”という上下関係ですが、患者さんから学ぶことも多く、臨床心理士とは“教える・教えられる”ヨコの関係です。治してあげようという態度で臨むとかえってコミュニケーションがうまくとれず、疲れてしまいます」。そんな教えを常に心に、毎日仕事に向うようにしています。

人間文化研究科修了 **田中 裕美子 さん**



# バイオ環境研究科

京都亀岡キャンパス

Graduate School of Bioenvironmental Science

バイオ環境専攻 博士課程前期／博士課程後期

## CONCEPT

## 研究科コンセプト

[博士課程前期(2年)]

### バイオ環境を実現するためのリーダーとして活躍できる バイオ環境技術者を養成します。

バイオサイエンス、環境学および食農学を連携させ、人とともに多様な生き物が共生できる環境(バイオ環境)を作り上げることを目標としています。

そのため授業科目は「バイオサイエンス領域」「バイオ環境デザイン領域」「食農領域」の研究分野科目と3分野関連科目が複合的に履修されるように構成されています。

これにより広い視野を持ち「バイオ環境」を実現するためのリーダー(バイオ環境技術者)を養成します。



## めざすキャリア

### 高度なバイオ環境技術者

- バイオ関連企業
- 環境関連企業
- 食品関連企業
- 農業関連企業
- 公務員
- 博士課程後期進学

### 中・高等学校教育の担い手

- 中学校教諭(専修免許状・理科)
- 高等学校教諭(専修免許状・理科)

[博士課程後期(3年)]

### バイオ環境を実現するためのリーダーとして活躍できる より高度なバイオ環境技術者を養成します。

バイオサイエンス、環境学および食農学を連携させ、人とともに多様な生き物が共生できる環境(バイオ環境)を作り上げることを目標とする、バイオ環境研究科の教育理念に基づき、博士課程後期では、3分野の複眼的な研究をさらに進めて「バイオ環境」の新しい研究領域を開拓し、企業の研究所やベンチャー企業でも、即戦力として技術開発や先端的な研究に取り組める、より高度なバイオ環境技術者を養成します。

## めざすキャリア

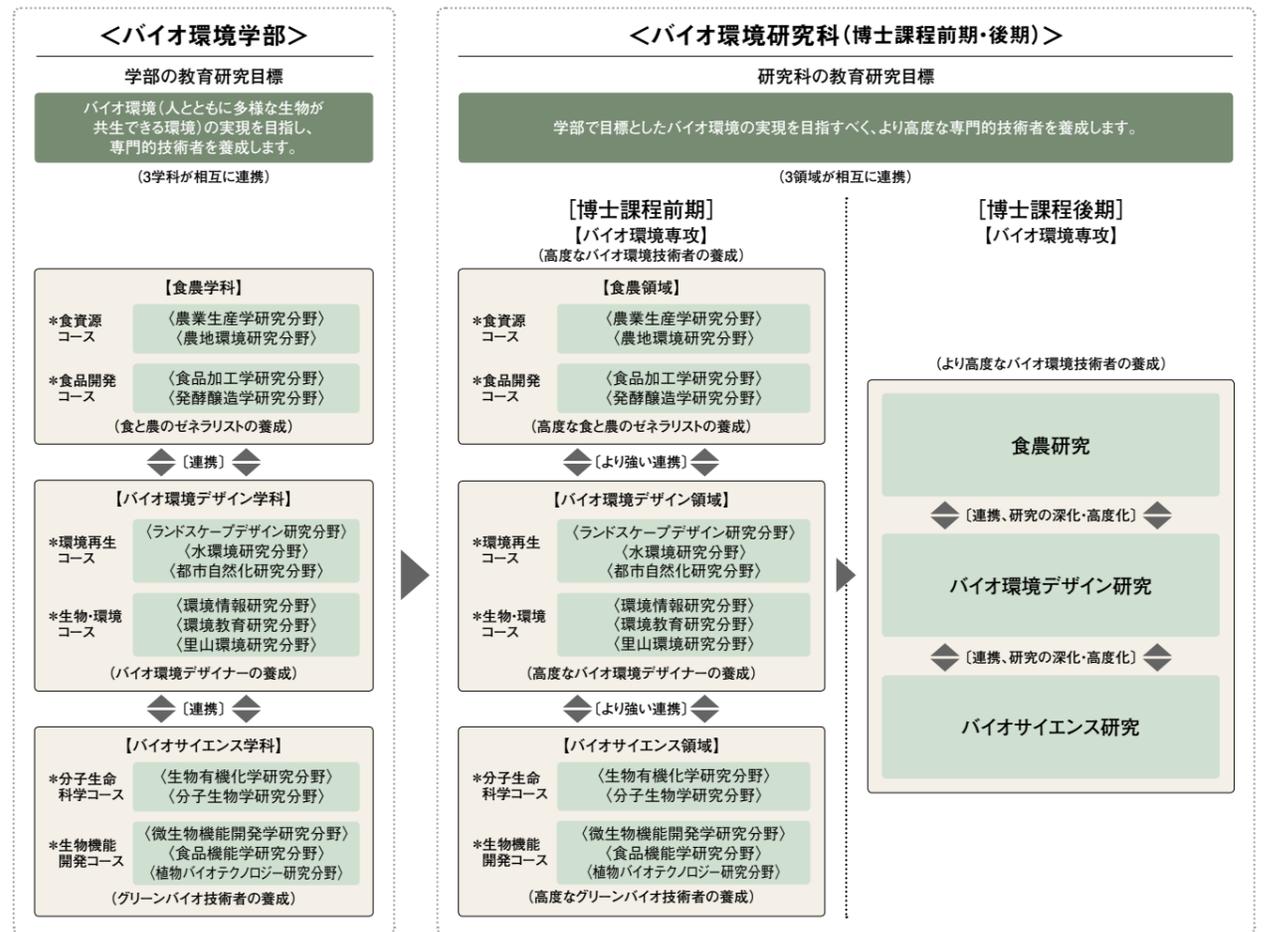
### より高度なバイオ環境技術者

- バイオ関連企業
- 環境関連企業
- 食品関係企業
- 農業関連企業
- 公務員

### ◎ 社会人の受入 ◎

博士課程後期には社会人も受け入れます。ここで社会人とは、博士課程前期(修士課程)修了者あるいはそれと同等の学力を有する者で、勤務先(所属事業所や企業の長)から同意を得ている者をいいます。社会人としての専業と両立できるように、週末や休暇期間を使った指導を行い、また、日常的には電子メールなどを活用した指導を行います。社会人の経歴を勘案して、試験の一部を免除することがあります。

## 「バイオ環境学部」と「大学院バイオ環境研究科(博士課程前期・後期)」の関係説明図



## CURRICULUM

## カリキュラム

### ■博士課程前期

研究分野 関連科目	[演習科目] <input type="checkbox"/> 生物有機化学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 分子生物学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 微生物機能開発学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 食品機能学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 植物バイオテクノロジー特別演習I~IV <input type="checkbox"/> ランドスケープデザイン特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 水環境特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 都市自然化特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 環境情報特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 環境教育特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 里山環境特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 農業生産学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 農地環境特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 食品加工学特別演習I~IV <input type="checkbox"/> 発酵醸造学特別演習I~IV	[特別研究] <input type="checkbox"/> 生物有機化学特別研究 <input type="checkbox"/> 分子生物学特別研究 <input type="checkbox"/> 微生物機能開発学特別研究 <input type="checkbox"/> 食品機能学特別研究 <input type="checkbox"/> 植物バイオテクノロジー特別研究 <input type="checkbox"/> ランドスケープデザイン特別研究 <input type="checkbox"/> 水環境特別研究 <input type="checkbox"/> 都市自然化特別研究 <input type="checkbox"/> 環境情報特別研究 <input type="checkbox"/> 環境教育特別研究 <input type="checkbox"/> 里山環境特別研究 <input type="checkbox"/> 農業生産学特別研究 <input type="checkbox"/> 農地環境特別研究 <input type="checkbox"/> 食品加工学特別研究 <input type="checkbox"/> 発酵醸造学特別研究
	科学英語 <input type="checkbox"/> [演習科目] <input type="checkbox"/> 科学英語演習I~II	

専門基礎 科目	<input type="checkbox"/> 分子生命科学特論 <input type="checkbox"/> 生物機能開発特論 <input type="checkbox"/> 環境再生特論	<input type="checkbox"/> 生物・環境特論 <input type="checkbox"/> 食資源特論 <input type="checkbox"/> 食品開発特論
------------	---	---

関連科目	<input type="checkbox"/> グリーンバイオ最先端技術特論 <input type="checkbox"/> 環境デザイン最先端技術特論 <input type="checkbox"/> 食農最先端技術特論 <input type="checkbox"/> インターンシップ A、B
------	--

### ■博士課程後期

<input type="checkbox"/> バイオ環境特別演習I~VI <input type="checkbox"/> バイオ環境特別研究
--

※系統的なカリキュラムを特に設定せず、「特別演習」と「特別研究」を単位化することにとどめ、各自の研究に専念していただきます。

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

## 求める人物像

### ■博士課程前期

- バイオサイエンスに強い関心を持ち、人類の健康と、快適かつ安全な生活に応用される最先端のバイオ技術やそれを応用する産業に意欲をもって携わりたい学生。
- 自然と科学に興味をもち、持続可能な地球環境と地域社会を建設していくバイオ環境デザイナーをめざす学生。
- 農業のあり方や農作物の加工に興味を持ち、これらに科学的な観点からアプローチし、遂行し、農産物を通じて地域の活性化に貢献したい学生。

### ■博士課程後期

バイオサイエンス研究とバイオ環境デザイン研究および食農研究のより積極的な連携や複眼的な研究を更に進めて、「バイオ環境」というコンセプトでの新しい研究領域の模索を行い、新しい環境技術の創成を行おうとする学生。修士またはそれと同等の学力を持つ社会人も受け入れます。



## TEACHING STAFF

バイオサイエンスと環境学の各分野をリードする研究者が集結して新しい「バイオ環境学」という新たな学問を創設しました。そこにさらに食農学の研究者も加わり、さらにバイオ環境学を発展させています。経歴面では、京都大学での教

育研究歴の長い教員が多く、また、その他の大学からの教員や、企業や行政で食品、薬品、環境などの分野で活躍した研究者も加わって、幅広い人材がそろっています。

食農領域	
農業生産学研究分野	
<b>北島 宣 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>佐藤 隆徳 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>
担当 食資源特論 農業生産学特別演習I~IV 農業生産学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論	担当 食資源特論 農業生産学特別演習I~IV 農業生産学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究
[論文]Hybrid Origins of Citrus Varieties Inferred from DNA Marker Analysis of Nuclear and Organelle Genomes. PLOS ONE 0166969(2016)	[著書][新編 野菜園芸ハンドブック](養賢堂,2001,分担執筆) [論文]Development of the Parthenocarpic Eggplant Cultivar 'Anonimori'. Japan Agricultural Research Quarterly (JARQ), 43, 123-127 (2009)
カンキョウの起源・種分化の解明や種子形成に関する研究および無核性品種の育成を行っている。また、環境負荷を低減する農業生産を目指し、冬期に無暖房で栽培できる高品質トマト新品種の開発を試みている。	地域特産物となり得る高付加価値な野菜の品種育成と特性解明、さらに環境に配慮した持続可能な栽培技術の開発に取り組む。

農地環境研究分野	
<b>藤井 孝夫 教授</b> <span style="float:right">修士(農学)</span>	<b>藤井 康代 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>
担当 食品開発特論 農地環境特別演習I~IV 農地環境特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論	担当 食資源特論 農地環境特別演習I~IV 農地環境特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
[著書][日本茶の魅力求めて](大河書房,2005,共著) [論文][京都府における茶樹の生育障害発生原因](京都府立茶業研究所研究報告 第22号 1996)	[論文][採卵鶏飼料としての竹粉および自家発酵竹粉の有用性] Bambo J., 29, 29-35 (2015)
農作物の品質・収量と土壌管理方法との関係性を明らかにし、環境負荷の少ない生産技術の研究・開発に取り組む。特に、京都の伝統的な農作物である、宇治茶や京野菜を研究対象として研究を行う。	タケを含む木質バイオマスについて、化学的手法による材料利用や生理的現象の解明を行うことで資源の有効活用、資源の持続的な供給を伴うバイオ環境の実現を目指している。

食品加工学研究分野	
<b>安達 修二 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>四日 洋和 講師</b> <span style="float:right">博士(工学)</span>
担当 食品開発特論 食品加工学特別演習I~IV 食品加工学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論	担当 食品開発特論 食品加工学特別演習I~IV 食品加工学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
[著書]Introduction to Food Manufacturing Engineering (Springer, 2016, 共著) [論文]An accelerated method for estimating the dispersion stability of mayonnaise by oil-water separation under reduced pressure. <i>J. Am. Oil Chem. Soc.</i> , 95, 1367-1372(2018)	[論文]A simple method for determining the flaxseed or fish oil content in microcapsules prepared by spray drying. <i>Jpn. J. Food Eng.</i> ,15(3),131-139(2014)
食品の製造過程で生起する現象をプロセス工学および物理化学の観点から定量的に解析することにより、食品を合理的に製造するための基礎科学である食品工学の発展に寄与する。	食品のおいしさ、香り、色、機能性を物理化学的視点から評価解析し、現在社会の多様なニーズに応える高機能食品の開発に貢献する。

発酵醸造学研究分野	
<b>井口 博之 講師</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	
担当 食品開発特論 発酵醸造学特別演習I~IV 発酵醸造学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究	
[論文]Stress resistance and C1 metabolism involved in plant colonization of a methanotroph <i>Methylosinus</i> sp. B4S. <i>Arch. Microbiol.</i> ,195,717-726(2013)	
植物と共生する微生物の環境適応能力や発酵食品中の微生物の機能について、遺伝子工学・分子生物学技術を用いて研究し、微生物生態の理解と発酵醸造・作物栽培への応用展開を目指している。	

バイオサイエンス領域	
生物有機化学研究分野	
<b>清水 伸泰 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>分子生物学研究分野</b>
担当 分子生命科学特論 生物有機化学特別演習I~IV 生物有機化学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究	<b>寶関 淳 准教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>
[論文]Biosynthetic pathway of aliphatic formates via a Baeyer-Villiger oxidation in mechanism present in astigmatid mites. <i>PNAS</i> , 114, 2616-2621 (2017)	担当 分子生命科学特論 分子生物学特別演習I~IV 分子生物学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究
土壌動物や昆虫が出すにおいを分析し、その化学構造やどのような行動に関わるのかを明らかにする。体内での生成機構を解明する基礎研究を遂行する一方、より発展的に新しい機能の応用を目指す。	[論文]Mitochondrial impairment triggers cytosolic oxidative stress and cell death flowing proteasome inhibition. <i>Sci Rep</i> 4, 5896(2014)
	神経変性疾患をはじめとする様々な疾患発症の原因となる細胞内タンパク質代謝の破綻とレドックス異常が互いにどのように関わっているのかをオルガネラレベルで解析し、その機構を解明する。

<b>中田 隆 講師</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>奥 公秀 准教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>
担当 分子生命科学特論 生物有機化学特別演習I~IV 生物有機化学特別研究 科目 グリーンバイオ最先端技術特論 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究	担当 分子生命科学特論 分子生物学特別演習I~IV 分子生物学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究
[著書][「インスタントシューの視点からみたバイオミメティクス、第2編 第5章」]「ダイヤモ草のハスモンヨウ抵抗性への寄与」(2016) シーエムシー・リサーチ [論文]Inducible de novo biosynthesis of isoflavonoids in soybean leaves by <i>Spooptera litura</i> derived elicitors: Tracer techniques aided by high resolution LCMS. <i>J. Chem. Ecol.</i> , 42, 1226-1236 (2016)	[著書][オートファジー-分子メカニズムの理解から病態の解明まで]南山堂 82-89 (2018) [論文]Evidence for ESCRT- and clathrin-dependent microautophagy. <i>J. Cell Biol.</i> ,216,3263-3274(2017)
害虫と作物の「食う・食われる」の関係に注目し、作物が持つ虫害抵抗性のメカニズムを昆虫と植物の相互作用の観点から解明することで、抵抗性の高品質な作物開発への応用・展開を目指している。	細胞レベルでの健康を維持するために、細胞内で物質を分解リサイクルする仕組み、その中でも特にオートファジーとよばれる機構を、酵母や哺乳類培養細胞を用いて研究している。

バイオ環境デザイン領域	
環境情報研究分野	
<b>田中 和博 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>ランドスケープデザイン研究分野</b>
担当 環境情報特別演習I~IV 環境情報特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究	<b>丹羽 英之 准教授</b> <span style="float:right">博士(地球環境学)</span>
[論文]LiDAR Introduces Revolutionary Changes in Its Approach to Forest Management. <i>J. For. Plan.</i> 22, 39-46(2018)	担当 環境再生特論 ランドスケープデザイン特別演習I~IV ランドスケープデザイン特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
森林に関する各種の環境情報を GIS (地理情報システム) などを用いて解析・評価するとともに、数値モデル等を活用して将来予測をしている。また、それらの結果を基に、森林をゾーニングしている。	[著書][景観の生態史観—攪乱が再生する豊かな台地](京都通信社,2012) [論文]流域単位で指標性の高い環境類型区分をつくる場合に適した河川植生データの取得方法、保全生態学研究,16,17-32(2011)
	河川を中心に景観生態学的なアプローチで自然環境の保全に資する研究を行っている。

水環境研究分野	
<b>金川 貴博 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>高澤 伸江 准教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>
担当 環境再生特論 水環境特別演習I~IV 水環境特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究 環境デザイン最先端技術特論	担当 環境再生特論 水環境特別演習I~IV 水環境特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究
[著書][ありがとう、微生物たち](東洋書店,2013) [論文]Affinity capillary electrophoresis with magnetic beads for multiplex quantitative analysis of bacterial 16S rRNA. <i>J. Biosci. Bioeng.</i> , 107,662-667 (2009)	[著書][南極・北極の百科事典]国立極地研究所編(丸善,2004) [論文]Kasamatsu, N., S. Kawaguchi, S. Watanabe, T. Odate, and M. Fukuchi, Possible impacts of zooplankton grazing on dimethylsulfide production in the Antarctic Ocean. <i>Can. J. Fish. Aquat. Sci.</i> , 61(5), 736-743 (2004)
良好な水環境の創出のために、水中に放出された汚染物質の除去技術、特に微生物を利用した汚染物質分解技術の研究と、そこで活躍する微生物の DNA を解析する研究などを行う。	河川・湖沼・海洋など様々な水環境を対象として、人間活動が水環境に及ぼす影響や、水質変化や気候変化が生物群集に与える影響について研究を行っている。

都市自然化研究分野	
<b>原 雄一 教授</b> <span style="float:right">博士(地球環境学)</span>	<b>里山環境研究分野</b>
担当 環境再生特論 都市自然化特別演習I~IV 都市自然化特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究	<b>鈴木 玲治 教授</b> <span style="float:right">博士(地域研究)</span>
[著書][京都を学ぶ(丹波編)](ナカニシヤ出版,2018,共著) [論文]世界主要都市114流域における水害脆弱性指標の開発. 水文・水資源学会,22,10-23(2009)	担当 生物・環境特論 里山環境特別演習I~IV 里山環境特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
バイオ環境の課題を解決するためのデザイン手法として、要素間の空間的な位置関係、空間形成の時間的な履歴、事象の相互の関連性、以上の3点を基本的なアプローチとする。	[論文]Effect of slash-and-burn on nutrient dynamics during the intercropping period of taungya teak reforestation in the Bago Mountains, Myanmar. <i>Tropical Agriculture and Development</i> ,53,82-89(2009)
	東南アジアや日本の農山村において、生物資源の持続的利用を可能としてきた在来知に着目し、森林環境学、土壌学、地域情報学の観点から、地域の生態環境に調和した農業や森林利用の将来像を検討。

環境教育研究分野	
<b>大西 信弘 教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>	<b>伊東 和彦 准教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>
担当 生物・環境特論 環境教育特別演習I~IV 環境教育特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究	担当 生物・環境特論 環境教育特別演習I~IV 環境教育特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
[著書]保津の漁労「京の筏 コモンズとしての保津川」(ナカニシヤ出版, pp. 63-76, 2016) [論文]インドアルナチャール・プラデーシュ州、ウエスト・カメン県およびタワーン県の鳥類相、ヒマラヤ学誌, 17, 113-119 (2016)	[論文]Simple practical processing of a large single crystal from a large amount of a complete stoichiometric mixture in two-component system. <i>J. Cryst. Growth</i> , 271, 398-402 (2004)
アジアの稲作圏の農地生態系は、多様な野生生物の生息環境でもある。アジアの農地生態系に学び、身近な環境で生物多様性と共生を目指す。	酸化物の中で特にケイ酸塩を中心とした大型単結晶の合成とその物性の解析を行っている。これらの固体物性の理解はエネルギー環境に配慮した高効率素子の開発を可能にする。

食品機能学研究分野	
<b>矢野 善久 教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>	<b>植物バイオテクノロジー研究分野</b>
担当 生物機能開発特論 食品機能学特別演習I~IV 食品機能学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究	<b>高瀬 尚文 教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>
[著書][ヒタミンE研究の進歩](ヒタミンE研究会編,共立出版,1994) [論文]LIS1 and NDEL1 coordinate the plus-end-directed transport of cytoplasmic dynein. <i>EMBO J.</i> ,27,2471-2483 (2008)	担当 生物機能開発特論 植物バイオテクノロジー特別演習I~IV 植物バイオテクノロジー特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
食品に含まれる機能成分、特に生活習慣病に対し予防や改善効果を持つ成分の探索法の開発とその成分の生理機能解析。	[論文]The improvement and enhancement of phyto-ingredients using new technology of genetic recombination. In <i>Biotechnology in Functional Foods and Nutraceuticals</i> . Eds.D.Bagchi,F.C.Lau,D.K.Ghosh,CRC Press,pp157-180 (2010)
	有限な地球における人類の活動と生存の持続を目的に、物質循環の流れを踏まえ、植物の機能を巧みに利用したバイオテクノロジーの研究開発に取り組んでいる。

<b>藤田 裕之 教授</b> <span style="float:right">博士(農学)</span>	<b>Prieto Rafael 准教授</b> <span style="float:right">博士(理学)</span>
担当 生物機能開発特論 食品機能学特別演習I~IV 食品機能学特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~IV バイオ環境特別研究	担当 生物機能開発特論 植物バイオテクノロジー特別演習I~IV 植物バイオテクノロジー特別研究 科目 バイオ環境特別演習I~VI バイオ環境特別研究
[著書]Marine nutraceuticals and functional foods, CRC press(2008) [論文]Efficacy and safety chinese black tea (Pu- Erh) extract in healthy and hypercholesterolemic subjects. <i>Ann. Nutr. Metab.</i> , 53, 33-42 (2008)	[論文]The <i>axh1::dwf4</i> auxin-hypersensitive mutant of <i>Arabidopsis thaliana</i> defines a link for integration of auxin and brassinosteroid mediated root elongation. <i>Plant Biotech.</i> , 32, 125-137 (2015)
食品中には、未知の体調調節機能を持つ物質が多く存在している。その中でも特にメタボリックシンドロームを中心に改善作用を示す食品を探索し、その活性成分の単離・構造決定、さらには構造活性相関にも取り組む。	植物における環境ストレスへの適応、ファイトレメディエーション、栄養代謝、オーキシシンやブラシノステロイドなどの植物ホルモン調節機構などについて研究する。

## 教員紹介

2021年度 大学院 入学試験ガイド

■募集研究科及び入学定員

研究科	専攻・コース	入学定員	備考	
経済学研究科	経済学専攻・税理士養成コース	5名	※選考方法についての詳細は、入学試験要項を参照してください。	
経営学研究科	経営学専攻・税理士養成コース	5名		
人間文化研究科	人間文化専攻	文化研究コース		10名 (うち臨床心理学コースは6名)
		社会情報コース		
		心理学コース		
		臨床心理学コース		
バイオ環境研究科	博士課程前期	バイオ環境専攻		20名
	博士課程後期			3名
工学研究科	博士課程前期	機械電気システム		15名
	博士課程後期	工学専攻		2名

■出願期間・選考日・合格発表日

	インターネット出願期間	選考日	合格発表日
A 日程	2020年9月14日(月)～9月29日(火) (出願書類の郵送は10月1日(木)消印有効)	2020年10月10日(土)	2020年10月20日(火)
B 日程	2021年1月5日(火)～1月22日(金) (出願書類の郵送は1月25日(月)消印有効)	2021年2月6日(土)	2021年2月16日(火)

\*経済学研究科、経営学研究科、人間文化研究科の学内推薦選考はインターネット出願を実施しないため、受付期間の最終日消印有効。

■2020年度 学費等 納付金額(参考)

経済学研究科・経営学研究科・バイオ環境研究科

費目	研究科別	経済学研究科		経営学研究科		バイオ環境研究科	
		入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)	入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)	入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)
入学金		200,000円	—	200,000円	—	200,000円	—
学費	授業料	272,500円	272,500円	272,500円	272,500円	315,000円	315,000円
	施設設備費	96,000円	96,000円	96,000円	96,000円	75,000円	75,000円
	実験実習費	—	—	—	—	85,000円	85,000円
小計		568,500円	368,500円	568,500円	368,500円	675,000円	475,000円
委託徴収金	学会費	2,000円	—	—	—	—	—
合計		570,500円	368,500円	568,500円	368,500円	675,000円	475,000円

人間文化研究科

費目	コース別	文化研究コース・社会情報コース		心理学コース		臨床心理学コース	
		入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)	入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)	入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)
入学金		200,000円	—	200,000円	—	200,000円	—
学費	授業料	272,500円	272,500円	272,500円	272,500円	272,500円	272,500円
	施設設備費	96,000円	96,000円	96,000円	96,000円	96,000円	96,000円
	実験実習費	—	—	10,000円	10,000円	40,000円	40,000円
小計		568,500円	368,500円	578,500円	378,500円	608,500円	408,500円
委託徴収金	学会費	3,000円	—	3,000円	—	3,000円	—
合計		571,500円	368,500円	581,500円	378,500円	611,500円	408,500円

工学研究科

費目	研究科別	工学研究科	
		入学手続時納付(春学期分)	10月納付(秋学期分)
入学金		200,000円	—
学費	授業料	325,000円	325,000円
	施設設備費	75,000円	75,000円
	実験実習費	100,000円	100,000円
小計		700,000円	500,000円
委託徴収金	学会費	—	—
合計		700,000円	500,000円

\*最終学歴が京都大学・京都先端科学大学(大学院含む)の方は、入学金100,000円(全研究科共通)、施設設備費半期分64,500円(バイオ環境研究科・工学研究科除く)となります。  
\*上記内容は予定であり、変更となる場合があります。

大学院長期履修学生制度のお知らせ

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、計画的に教育課程を履修し、修了する制度です。

1.適用研究科 全ての研究科に適用されます。

2.申請資格

- ①職業を有している者
  - ②育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
  - ③その他やむを得ない事情(身体の障がい、疾病等)を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
- ※外国人留学生(在留資格「留学」を有する者)は申請できません。

3.履修期間

- ①修士課程・博士課程前期の長期履修計画期間は、標準修業年数2年を含み最大4年
- ②博士課程後期の長期履修計画期間は、標準修業年数3年を含み最大6年

4.申請手続

入学日の原則20日前までに次の書類をご提出ください。

- ①長期履修学生申請書
- ②在職証明書(職業を有する者)
- ③その他必要と認められる書類

5.授業料等の取扱

- ①履修計画期間(標準修業年数に長期履修期間年数を加えた期間)における授業料等の額は、標準修業年数(修士課程・博士課程前期2年、博士課程後期3年)分の授業料、施設設備費、実験実習費(以下「標準修業年数分学費総額」という。)を履修計画期間で除した額となります。
- ②履修計画期間に変更があった場合、標準修業年数分学費総額から、支払済み授業料等を差し引いた額を、残りの履修計画期間で除した額となります。

◎この件に関するお問い合わせは 入学センター 075-406-9270まで

交通案内

### 京都亀岡キャンパス

JR京都駅より約30分 JR亀岡駅よりバス9分  
(本学学生料金110円)

阪急桂駅より約30分 阪急桂駅よりバス30分  
(本学学生料金240円/京都縦貫自動車道経由)

JR桂川駅より約30分 JR桂川駅よりバス30分  
(本学学生料金240円/京都縦貫自動車道経由)

**自動車通学 OK!**  
学生専用無料駐車場を完備!

- 京都市西部から約25分
- 長岡京市から約25分
- 高槻市・茨木市・池田市・箕面市・川西市・猪名川町方面から約40分

### 京都太秦キャンパス

京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩約3分

京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩約5分

# KUAS

KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE

京都先端科学大学 大学院

<https://www.kuas.ac.jp/>

【入試に関するお問い合わせ】 入学センター

TEL/075-406-9270 E-Mail/nyushi@kuas.ac.jp



## うずまさ 京都太秦キャンパス

〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18 TEL/075-406-7000(代表)

[経済経営学部] 経済学科/経営学科 [人文学部] 心理学科/歴史文化学科 [健康医療学部] 看護学科/言語聴覚学科  
[工学部] 機械電気システム工学科  
[大学院] 経済学研究科(修士課程)/経営学研究科(修士課程)/人間文化研究科(修士課程)/  
工学研究科(博士課程前期・後期)



## 京都亀岡キャンパス

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL/0771-22-2001(代表)

[バイオ環境学部] バイオサイエンス学科/バイオ環境デザイン学科/食農学科 [健康医療学部] 健康スポーツ学科  
[大学院] バイオ環境研究科(博士課程前期・後期)